

1960.3.1 (火)

# VOCALIZE

No. 41

AKC ヴォーカライズ機関紙

浅井幸三

土筆の僧正

宇野 暮江

物申う  
物申う  
土筆の僧正  
焦茶の袴で  
何処おじやる

さアても  
さアても

水が温んで  
まぎれもござらぬ  
春で候

ぽつつり  
ぽつつり

土筆の僧正  
焦茶の袴で  
草の中

∴「日本童謡集」より

Vocalize  
<41号>

- ◇合唱団めぐり 名古屋シテイコーラス…2
- ◇ニュース欄、つどい案内、催し案内、アンケートについて、招待席C…4567
- ◇大阪支部だより「春」増田容子…6
- ◇プロフィール 桜山崇子さん(七)…7
- ◇プロフィール 永井 充くん(八)…8

3月の演奏会

名古屋 ◇CM ◆PM ■ステージ

- ◇アメリカ空軍交響吹奏楽団演奏会  
9日昼夜・市公会堂
  - ◇アンサンブル・レオーネ演奏会  
9日夜・文化講堂
  - ◇名古屋交響楽団第20回定期演奏会  
9日夜・文化講堂
  - ◇オイゲン・ヨツフムと東京交響楽団演奏会  
11日夜・文化講堂
  - ◇国立アカデミー・ウイーン合唱団演奏会  
16日夜・市公会堂
  - ◇松岡三恵ピアノ演奏会  
17日夜・文化講堂
  - ◇今井久仁恵ソプラノ独唱会  
19日夜・CBCホール
  - ◇巖本真理ヴァイオリン演奏会  
19日夜・市公会堂、20日昼夜・文化講堂
  - ◇バッハ・モーツアルトの午後  
20日昼・市公会堂
  - ◇ゴールデン・コンサート(室内楽)  
23,24,25日夜・市公会堂
  - ◇岡部美佐子ヴァイオリン演奏会  
25日夜・文化講堂
  - ◇リシャルド・バクスト・ピアノ演奏会  
28,29日夜・市公会堂
  - ◇フェリス女声合唱団演奏会  
29日夜・文化講堂
  - ◇五十嵐喜芳テノール独唱会  
31日夜・文化講堂
- 8ページにつづく—



## アカデミックなコーラスをめざす

指揮者依存に功罪のすべてが…

…名古屋シテイー・コーラスの巻…

## 名古屋合唱界の新しい息吹き

ひところの名古屋合唱界といえは、東海メールクワイヤーと名古屋合唱団によって代表され、それを追うものはメール・パルナツスムと名古屋響友会だった。メールはますます勢力を伸長したのに反し、名古屋合唱団はやや低調のそしりを免れず、パルナツスム、響友会があえなく退いた現在では、グリーン・エコーとこの名古屋シテイー・コーラスが新しく地歩を築き、グリーンは若々しさを誇り、シテイーはアカデミックな音楽を指向して、ともに確固たる位置を占めたといってもよい。

## シテイーコーラスと横井園生氏

が、名古屋シテイー・コーラスの歴史はきわめて浅い。創立は昨年の五月で、この三月二十日の「バッハ・モーツァルトの午後」が初公演というのでは、例えば音楽好きであり、合唱に興味を持っている人であっても、知っていないから恥

になるというわけもない。それに、この合唱団は、並の合唱団と違って、合唱コンクールなどには参加しないというほど気位が高い？から、よけいにPRの機会に恵まれないわけである。

この名古屋シテイー・コーラスの指揮者、横井園生氏は、いままでの仕事（東海メール、学生合唱団、パルナツスムなど）をいっさい精算して、シテイー・コーラスに打ち込んでいるという熱心さ。この合唱団の消長は、すべて横井園生氏の指導にあるといってもよさそうだ。

## AKC色の濃い首脳陣

私たちAKC出身者にとっては、非常に身近に感じられる合唱団…といっても、AKC出身者がそれほど多いわけではない…である。それは、副指揮者に水野俊彦君（六期・旭丘講師）が名を連ねているのをはじめ、代表が加藤進氏（四期・CBC）、マネージャーが加藤雄樹氏（三期・東海銀行古出来町支店）と、団の幹部がAKC出身者によって占め

られているからにはほかならない。

団員はもちろんコーラス好き、しかもすでに合唱経験五年以上といった若きベテランぞろい。現在団員は約五十人（ソプラノ、アルト各十五、テノール、バス各十といった割合）で、中には音楽学校出身者も十人程度はいる。この点について、代表の加藤氏はこういっている。「音楽の専門教育を受けてきた人、いわゆるプロと、アマチュアで合唱をやっている人との間に全然結びつきがなかった。アマチュアだけの合唱には、ある限度が生じてくる。それを打開するためにも、両者が一緒になって合唱のレベルを引き上げていきたい。純アカデミックな立場から、ほかの合唱団で取り上げないような古典とか、そういう曲をおもに取り上げて演奏活動をしていく…これが、シテイー・コーラス設立の趣旨である。

二月十九日には、中区役所ホールで団員仲間の発表会をしたが、これは、団員がそれぞれの能力に応じて、ソロ、カルテット、あるいはピアノなどの練習の成果を示すもので、単に合唱だけでない演奏会を開いていくのも、一つの目的だ、と説明している。

その練習は：

練習日は毎週水、金の二日。夕方六時半から中日会館内で横井氏の指揮で練習をしている。熱がはいって、終わるのは九時ごろになるというから、決して生やさしいことではない。それに、日曜日には男声と女声がわかれて個人的な練習もしている（これは音楽学校を出たものが指導にあたる）。よほど好きでなければ、週三日はとても勤まらない。団員の中からは「練習日の割には人数があまり出ていないから、もつと集まりをよくしたい」という声も聞くが、いくら公演準備の臨時態勢ではあっても、週二〜三日の練習にコンスタントな人集めを図ることはむずかしいに違いない。

練習場がちよつと不便な位置なのも気になるが、それよりも、さしあたっての希望は、「たとえ音をとるだけとはいっても、やはりピアノがほしい」のだそうだ。もつと設備の整った練習場へ移りたいということだろう。

合唱団の苦勞を知っている団員たち

合唱団の運営はうまく行っている…と加藤代表はいっている。その最大の理由は「団員のそれぞれが、いままでの合

唱団で中心的な仕事をしてきた人だから、合唱団のむずかしさというものがわかっていゝからだ。メンバーの異動も少なく、たとえ名を覚えたりゆつくり話し合ったりするほどの余裕はないにしろ、気楽に話し合えるふんいきは十分にある。ただ、どの合唱団に所属していたとか、何という学校出のものが多いか、ということまではわからない。和はあっても話し合う時間が乏しいからだろうか。団員間の交流にまで手が回らないのは事実のようである。

演奏会を控えて、女の人たちはそろいのドレスも作った。だから、あまりやめないだろう、というのが、いささか樂觀的観測のモト。ともかく、異動の少ないのは、こうした合唱団にとって何より大切なことだけに、いまの状態が続くことが望まれよう。

よくも悪くも指揮者が中心

曲目あるいは定期演奏会についての希望を聞きたいといってみたが、期待した返事は一つとして得られず、目下のところは目先の公演のことしか考えられない様子だった。いや、というよりは、むしろ指揮者の横井氏の熱に押されて、団員としてはそれについていくのが精一杯なのではないか、という印象をぬぐい切れ

なかった。率直にいつて、このシティ・コーラスの難点はそこにある。横井氏の指導いかんで消長が決まると前に書いたのも、団員のこうした受け身の態度から受ける前途への疑念からにはかならない。シティ・コーラスの夢については、加藤代表の言を紹介しておこう。「名古屋シティ・コーラスという名がついているからには、名古屋市を代表する合唱団になりたい。また、名古屋とロサンゼルスは姉妹都市を結んだから、ロサンゼルスの合唱団と連絡をとって、楽譜の交換とか、将来はお互いに演奏旅行もやりたい」夢は大きいに越したことはない。その夢が一日も早い機会に実現するよう、私たちも期待しよう。しかし、いまずぐにほしいものは、指揮者に負けない意欲だ。アカデミックな音楽を標榜するシティにかげられる期待は大きい。願わくば、いつまでも当初の理想を忘れずに進まれんことを。

―編集あとがき―

この記事は、名古屋シティ・コーラス代表者 加藤清さんほか四名の団員の方の話をもとに、編集部浅井幸三が書いたものです。団員諸兄弟のご協力に対し、紙上よりお礼申し上げます。



この欄はAKC出身者みんなの近況を知らせ合うために設けてあります。どんなことでも、そしてだれのことでも、ぜひお知らせ下さい。

◇…住所の変わった人

・中尾桂二(七七)は自宅が昨秋の伊勢湾台風で被害を受けたので、新築されたもの。止宿先(西宮市)は現在までと同じ

春日井市×××

・永井充君(八)

大阪市北区×××電話×××

◇…永井充君(八)は急性肝臓疾患のため約三週間の静養を要することになり、自宅(名古屋市東区堅代官町×××電話×××)に帰って療養している。経過は順調のようである。

◇…水野俊彦君(六)は、旭丘高校の音楽講師として、三十四年度は春日井分校を担当していたが、都築先生の話によれば、三十五年(この四月から)は本校を受け持つことになる予定という。

◇…本年度新卒者の就職、進学先は、次号に掲載する予定。

ヴォーカライズのつどい・ご案内

一名古屋

本年度卒業生を励まし迎える会を兼ねたヴォーカライズのつどいを、つぎのように開催したいと思えます。本年度最後の行事でもあり、皆さん方多数のご参加をお待ちしております。

記

とき 昭和35年3月22日(火)

PM五時三十分～八時

ところ 名古屋市東区豊前町×××

浅井 幸三方

かいひ 百～百五十円(予定)

以上

とくに新卒業生の方のご参加を希望します。

……大阪……

大阪地区ヴォーカライズのつどいは、三月二十七日(日)に開催するべく準備中です。ご予約おき願いたいと存じます。詳細は後刻ご連絡申し上げます、ご承知下さい。(六ページもごらん下さい)

四高校合同文化祭

AKCも出演・三月二十日(日)旭丘で

旭丘(本校および春日井分校)、淑徳、名古屋、東邦四高校合同文化祭が三月二十日の日曜日、旭丘高校鯨光館で開かれる運びとなった。これは四校の生徒会が中心となつての交歓会で、旭丘高校音楽部が出演するほか、淑徳の合唱、東邦の吹奏楽などが予定されている。AKCとしては、二年生が修学旅行で出る(九日～十五日)関係もあつて、十分な練習日程もなく、一年生主体の合唱となる。曲目はピッツ「森の教会堂」、メンデルスゾーン「うれしかったより」など校歌を含めて五曲ほど。なお、同日は三十五年度入試の合格発表日に当たっているため、混雑する点を考慮して、会場が変更されることもある。

この日は、シテイ・コーラスの公演もあり、双方にとってありがたい日程となった。

またAKCの中には、新年度にオペレッタをやるという動きもある。これは学校祭の音楽部発表会とは別に企画されるものとみられるが、いまのところ議決段階に持ち込まれていないので、果たして実現するかどうかわからない。

### みなさんのお力添えを おねがいします 二つのアンケートについて

#### 私たちのゴールドデンステージ

月刊「アンコール」が主体となって行なっている「私たちのゴールドデンステージ（夢の音楽会）」の選定は、アンケートの回収があまりはかばかしくなく、編集部では困っております。そこで、ヴォーカライズ全会員の方々のご協力で、この企画を成功させたいと思います。

同封の用紙をごらん下さればおわかりと思いますが、これは皆さんに一年分の音楽会プランを立てていただくもので、条件は①クラシックに今回は限定する②オペラ、バレエを含んでよい③演奏家は日本人あるいは長期間にわたって滞りしている外人とする④年間（12回）のプランを立てること⑤その順列、およびいかなる種目（オーケストラ、オペラ、バレエ、ピアノ、ヴァイオリン、ヴォーカル、コーラス、アンサンブルなど…）を何回取り上げるかも自由…となっている。

参考までに34年度会員音楽趣向調査の結果をみると、下記の通りである。（好きな種別、演奏家）

①②③得点		
オーケストラ	372	25 N響6東フィル2 関響1
オペラ	521	20 二期会3藤原歌劇1
ピアノ	412	16 菌田高弘5井口基成1
コーラス	303	12 東緑1
ヴォーカル	022	6 中山梯一・五十嵐喜芳 ・伊藤京子 各1
ヴァイオリン	013	5 巖本真理2辻久子1
バレエ	111	6 谷桃子・貝谷八百子 ・松山樹子 各1
室内楽	011	3

#### ヴォーカライズへの会員の声

昭和34年度における私たちAKCヴォーカライズの活動は、あまり活発なものとはいえませんでした。ヴォーカライズのつどいの不成功、月刊ヴォーカライズの休刊や遅刊など、少なくない失敗もありました。この年度を終えるにあたって、私たちは率直に反省したいと思います。

次号では、昨年の4月号（No.33）で行なったような「会員の声、委員の答」を特集したいと思います。同封の用紙をお使いになって、この一年のヴォーカライズのあれこれについて、忌憚のないご意見をお寄せ下さい。

なおこのアンケートはつぎの部分から成っていますから、ご注意下さい。

- 昭和35年度会員予備登録（この返事によって、投票用紙の作成ははじめ機関紙の発行部数、写真の必要枚数などが決まります）
- ヴォーカライズのつどい 参加連絡
- 月刊「ヴォーカライズ」への批判
- ヴォーカライズ主催行事について
- 近況報告および異動連絡

締め切りは3月25日（金）です。ごめんでも、封書にしてお送り下さい。ご返事がないと、会の事務上困難をきたしますので、ご協力をお願いします。

「バッハ、モーツアルトの午後」を  
ぜひおききください

AKCとのゆかりも深い名古屋シテイ・コーラスが、つぎのような意欲的な初公演を行なうことになりました。私たちの仲間を励まし、地元の演奏家を育てるために、皆さんの積極的なご支援をお願いいたします。おなじみの水野俊彦君（六）の独唱に、加藤清氏（四）の名ナレーターの独唱に、加藤清氏（四）の名ナレーターの独唱にも加わり、合唱団のメンバーにはAKC出身者もみられる豪華版？です。ぜひおきき下さい。会員券は浅井がお取り次ぎします。

3月20日（日）2:30 市公会堂

管弦楽 名古屋放送管弦楽団

合唱 名古屋シティ・コーラス

指揮 横井 園生

◆ バッハ 「カンタータ第4番」キリストは死のとりことなりたもう」

◆ バッハ 「ピアノ協奏曲ニ短調」

◆ モーツアルト 「歌劇魔笛Vハイライト」

独唱 ソプラノ（パミーナ）加藤恵美子  
テノール（タミーノ）水野俊彦

バリトン（パパゲーノ）山田昌弘

バス（ザラストロ）小栗久和

○ 会員券 A 一八〇円 B 一二〇円

## 音楽こぼれ話

## 西洋版宮本武蔵

パガニーニがようやく名を知られてきたころ、当時売り出しのフランスのヴァイオリニスト、ラフオンがオーケストラ伴奏でひき比べの試合を申し込んできた。オーケストラとの下練習の日パガニーニは遅刻したうえ楽器を忘れて現われ、演奏はミスだらけだった。ラフオンは安心した。いよいよ演奏会の日、ラフオンがまず見事な演奏をした。

## 大阪支部だより

## 春



それは何とすばらしい季節であることか！よみがえるような、生きがいを感ずるような、「さあ（何か始めよう）」というような……とにかくよい季節ですね。（文学的表現には弱いんです）さてわが大阪支部は、昨年初夏に和歌ノ浦へ新入者ウエルカムを兼ねてハイキングに行きました。……が、です。南紀州の美しい海に沿った観光道路を足にまかせてハイクを楽しんでおりましたのを、後からマツハオトキチ族や、白、黒、黄ナンバー砂塵をまき上げて追い抜き、あのいやな感じ、今度はきつとドライブにしようと思いを決したこ

とでした。

時、まさに春

三月末ごろには浅井会長が来阪されるとのこと。そのころにでも、全会員でシボレーでも駆使しようとして話合っています。あのギヤーをチャツチャツと入れかえたりするのは、スキーのストックさばきにも似て、得もいわれぬ魅力ですね。

大阪以外の方でも、ご希望の方で命の二つ以上お持ちの方、大いに歓迎いたします。ふるってご来阪下さい。

何しろ、五会員のうち四人が免許を持つていますし、そのうちの一人は整備士の資格もあるんですから。もともと他の一人は、梅田の交差点はよう渡らんけど、郊外に出れば百キロは出すなんて言ってますが、別条のない限り命は大丈夫でしょう。

次いで、パガニーニが立って弓を取り上げると、E線がポツンと音を立てて切れた。人々はもう試合はきまったと思った。ところが三本の弦のヴァイオリンでパガニーニはひきはじめ、ラフオン以上の見事な演奏をやつてのけた。人々の驚嘆したことは大変だった。これらのことは初めからみなパガニーニが企んでおいた筋書きだった。

## 愛知学芸大 音楽部

## 第六回定期演奏会

愛知学芸大学名古屋分校音楽部の第六回定期演奏会が、つぎのとおり開催される。ことしは、例年にくらべるとAKC関係者の顔は少ないが、千本木宣子さん（十）のほか、三年生の若林延昌君（五期・岡崎）が出演する。ぜひおききのうえ、ご高評たまわりたい。なお、入場は無料（プログラム引換券五十円）となっている。

と き 三月十二日（土）PM二時

ところ 名古屋市公会堂

曲目 ▽混声合唱 ブラームス「愛の歌」

「哀悼歌」、メンデルスゾーン「秋の歌」、シューベルト「菩提樹」▽女

声合唱 ブラームス「二つのホルンとハープの伴奏による歌曲」

▽独唱 ブラームス「かいなきセレナード」

「永遠の愛」シューマン「はすの花」

「われは恨まじ」

▽ピアノ独奏 シューマン「ピアノ協奏曲」

ブラームス「狂詩曲」シューベルト「即興曲」

その他、二重唱、児童合唱など

## 招待席 C

現在の方式は

今年度で打ち切り

85年度は音協に2、3名のイスを

企画「招待席Cは、つぎの三行事をもって三十四年度分を終了することになりました。来年度からは現在の形式をとらないことに内定しておりますので、昭和三十二年六月以来断続的に行なっていました「招待席C」も一応の区切りがつけられるわけであり、長い間の皆さんの激励に対し、お礼を申し上げます。

・国立アカデミー・ウイーン合唱団演奏会

三月16日夜・市公会堂（臨時企画）

招待者II

・五十嵐喜芳（テノール）独唱会

三月31日夜。愛知文化講堂

招待者II

・ペレス・プラード・ショー

四月3日昼・市公会堂

招待者II志水照代(十三) 野村圭子(十三)

新年会の企画は、音楽友の会に二。

三人の会員券をとり、これによって生の音楽に接していただくもので、東フ

イル(4月) 安川加寿子(5月) 中山

梯一(6月)の予定。

## プロフィール

フランス歌曲研究会のメンバー

桜山 崇子 さん

(七期・委員)

AKKの七代目部長で、女性としては最初の部長であった。その手腕があまりにみごとであったためか、部長は女の人に限定と、しばらくは女性部長時代が続いたほどのやり手で、こと音楽に関してはきびしいものを持っている。一昨年は教生として旭丘で教えているし、昨年暮れには「フランス歌曲の夕べ」に出演しているの、東京在住の割には、AKK現役員にも知られていよう。

夏休みのAKKの練習に立ち合ったとき、手きびしく批評したので、一度在校生にこわがられ、やさしい水野俊彦君の指導を希望する者が一挙にふえたこともあった。向こう気の強さがこの人の売り物だったのも、AKK時代、たった一人で部を切り回していかねばならぬという条件のもとにつくられた面もあるし、一面では、音楽に対する一種の自信の現われでもあった。

AKKの歴史の中でも、まず一、二にあげてよい素質のある音楽家である。AKK入部のさい、上級生の間に巻き起こったセンチション、音楽大学へ進むさ

いの期待、そして昨年のデビューへ寄せられた関心と、いつも話題の中心にあったのも、みんながこの人に多くの夢を託しているからだ。

ことし国立音楽大学の専攻科を終えたが、このまま東京に住みついて音楽一本に進んでいく決意を示している。最近フランス歌曲をおもに歌っているソプラノで、九州方面へはよく演奏旅行もしている。ひところ、東京ルナ・アルモニコ(女声プロ合唱団)のメンバーとしてソプラノのパート・リーダーをやったりしたが、自分の勉強にはならないからと足を洗った。できれば、やはりソリストとして伸びてもらいたい。学大附中の出て、同期生からは「サクチン」と呼ばれている。



## プロフィール

写真を担当している

永井 充 君  
(八期)

永井君がAKCにいたころは、男声部員ほどつまらない存在はなかった。合唱は女声の曲ばかりだし、音楽部発表会といってもほとんど出番がないからだ。そのうえ、少ない男声部員を大事にしてもらえなかったといえ、必ずしもそうではなかった。永井君は、「ボクは音楽なんか専門外だ」というような顔つきで、興味があるような、ないような格好のまま最終学年になったが、どうして、どうしてなかなか美しい声の持ち主、三十年代発表会での人気をかつさらってしまった。

家業は周知のごとく写真屋さん。お兄さんがほかの仕事にいたので、まず家業の後継者たるべく、写真短大を出て東京光音入りした。この紙上では、森本君とともに写真欄を担当し、いつもあざやかなポートをものにする腕前は、説明するまでもないところだろう。スポーツが好きで、体操と野球の好手。最近（ほんとうについ最近）覚えたスキーにすっかり病みつき、会社（読売テレビ・大阪）をサボって新潟・長野

県境の山にこもった？というから、思い切ったところもある。その甘い声が示すように、いささか甘えん坊なのだろう。気やすく人につき合うのも、そうした特性が預かっているからだ。

上役とは、仕事のことによくぶつかるといだが、ほんとうはだれにでも親しむ感じよい青年である。カメラを持つと、とたんに強気になって、モデル？に向っているいろいろ注文をつける。それだけに、カメラ・フェースのいい人をすぐ好きになる悪癖（かどうかは知らない）もあり、だれかから「美人ばかり写している」と言われたりするが、これも商売熱心のあまりに起こる事柄だろう。名古屋へ戻って家業をつぐのも遠い日ではない。あずま中学出身で昭和十三年三月八日生まれ。



## Invention

おことわり：いろいろな都合で、編集から印刷、発祥の段階で遅滞を生じ、紙面構成上に時間的ズレがあります。この点おことわり申し上げます。著しく発行の遅れたことをお詫びします。

○：もうすっかり春の気配、春の音楽シーズンでもある。ヴォーカライズの役員にとつても、任期の最後の月となった。まったくふできな一年だったが、なんと早く過ぎてしまった一年でもあったろう。

○：次号では、そうしたいいろいろな感慨をこめて、特集号を出したい。去年の十ページだったから、せめて十二ページくらいにはしたい。ご協力下さい。

## 3月の演奏会（つづき）

- ◇池田トリオ演奏会  
24日夜・毎日ホール
- ◆モダン・ラテン・アルバム  
8日夜・文化講堂
- ◆日本のジャズの歴史  
13日昼夜・市公会堂
- ◆石井好子シャンソンリサイタル  
15日夜・市公会堂
- ◆藤沢嵐子ショー  
31日昼・市公会堂

1960. 4. 1 (金)

# VOCALIZE

No. 42  
(PR版)

旭丘高校音楽部出身者の会 ヴォーカライズ 浅井幸三

## 夢の木

水谷 まさる

ゆすろう、ゆすろう、  
夢の木を  
あおい野原の  
まんなかに  
一本はえてる  
夢の木を。

ゆすろう、ゆすろう、  
夢の木を  
枝にまつか  
夢の実が

ぼとりぼとりと  
落ちるまで。

ひろおう、ひろおう、  
夢の実を

ひろってたたいて  
わって見よう

おもちゃがいろいろ  
出るそう。

「日本童謡集」より

### Vocalize <PR版>

- ◇ヴォーカライズへの誘い……………1
- ◇ヴォーカライズの目的……………2
- ◇ヴォーカライズの行事……………3
- ◇これまでの歩み……………4

## 私たちの集まりに

ご入会下さい

A K Cヴォーカライズ委員会

A K Cヴォーカライズへご入会下さい。私たちの、A K Cヴォーカライズは、旭丘高校音楽部の出身者と在校生によって組織されている友好団体です。ともに歌った友だち同士で、いつまでも手をつなぎ合って、励まし手となり、慰め手となり、ときには相談相手にもなって、つながりを深めていきたいと望むものの集まりです。

私たちには大きな希望と、多くの夢があります。そのためにも、ぜひ、あなたに会員になっていただき、お力をお貸し願いたいと思います。どうか、すぐにもご入会たまわりたいものです。

以下の、目的、行事、歩みの記事をお読みになって、この趣旨にご賛同いただけるものと存じます。そのさいには、同封の申し込み用紙で、折り返し入会の手続きをおとり下さいますよう、お願い申し上げます。

昭和三十五年四月

連絡先 名古屋市東区×××

浅井 幸三



## A K C ヴォーカライズとは

その目的、その歩み

そして行事は？……

「A K C ヴォーカライズ」という、小さな集まりが生まれて、もう五年近くになるうとしています。…しかし、あなたは、この名前をご存じでしょうか。あるいは、それが一体どんな会なのかを知っておいででしょうか。

どこかで聞いたような気がする、とは思いませんか。そうです。あなたは「A K C」を決して忘れてはいないはずです。私たちの集まり、「A K C ヴォーカライズ」は、A K C すなわち旭丘高校音楽部にゆかりのあるものでつくっている、一つの友好団体なのです。趣味を同じくして同じクラブにはいり、声を合わせて歌い、励まし合って過ごしてきた高校時代のつながりを、いつまでも持ち続けるために、そして年の差こそあれ、同じ名のもとに続けられる仲間の集まりを、もっと上に、あるいは下にひろげるために、学校における同窓会、くらすにおけるクラス会のような集まりとして、設けられているものです。

私たちの目的と、そのために行なわ

れているいくつかの企てをご紹介し、あなたにも、ぜひこの「A K C ヴォーカライズ」へ加わっていただきたいと思えます。

### A K C ヴォーカライズの目的

学校生活の中でも、最も意義深く、印象深いのは、おそらく高校時代でしょう。その三年間の生活のうちで、ひととき忘れられないものが、クラブ活動であることもまた多くの人がいうところです。

私たちはA K C (旭丘高校音楽部) に属して、大ぜいの友人たちとともに歌い、音楽について語り、日々の生活にも励まし合ってきました。ところが、学校を出てしまうと、そうしたつながりは失われがちとなり、一方、自分より先の人たち、あとからA K C へはいった人たちのことなどは、さらに知る機会もないのです。これは、決して望ましいことではないと思うのです。

なるほど親しい友人の一人や二人は、いつまでも親交が続くかもしれませんが、

でも、同じステージに立って、コーラスを楽しみ合った友人たちとの連絡が、ともすると、とだえがちになるのは避けられないでしょう。やはり、同窓会的な集まりは必要ではないでしょうか。

ある日、あなたは演奏会へ出かけたことしましょう。そこには、同じA K C が出た仲間が必ず何人かいるのです。アナタより先輩かもしれませぬし、後輩であるかもしれないのです。もし、あなたがそうした人たちとつながりを持っていら、気軽にあいさつし、その日の感激を話し合えるはずですよ。

私たち「A K C ヴォーカライズ」は、そうしたつながりを深めるために昭和三十一年に結成されたのです。上級生と下級生、卒業生と在校生を結ぶ縦のつながりとして、同級生同士をさらに強く結びつける横のつながりとして……。そして、仲間同士が手をとり合って、私たちの間から生まれた音楽家を支援し、相談相手となり合っているように思うのです。それは大きな望みです。あるいはまた、小さな夢でもあるでしょう。しかし、いつかは、きっとあなた自身にもこの恩恵があるはずですよ。

## 組織と会費とその行事

私たちの「AKCヴォーカライズ」には、旭丘高校音楽部の関係者（卒業生、在校生を問わず）と、この会の趣旨に賛同される方なら、だれでも入会できます。会費は年額二百円で、つぎのような行事、事業をすることになっていきます。

- 1、機関紙「ヴォーカライズ」の発行
  - 2、「ヴォーカライズのつどい」開催
  - 3、旭丘高校音楽部およびAKCヴォーカライズの記録の作成と保存
  - 4、各種音楽鑑賞団体への加入あつせんと、音楽会紹介紙「アンコール」の発行
  - 5、東京、大阪両支部の設置と同地区会員の有効の育成促進
  - 6、旭丘高校音楽部行事の後援
  - 7、会員の相互扶助
- このうち、重点となっている「ヴォーカライズ」発行と「つどい」の開催について触れると、つぎのようです。

## 機関紙「ヴォーカライズ」は

機関紙である「ヴォーカライズ」は、月刊で、この号と同じ体裁の小紙です。

おもな内容は、会員を順に紹介していく「プロフィール」（これには「シックスシリーズ」という写真がつき、記事と写真の両方から。仲間のプロフィールを知ってもらおうというものの）、会員の書いた近況を載せる「ニュース」、異動や会合などを知らせる「ニュース」、そのほか時に応じての特集記事、あるいは「合唱団めぐり」「今月の演奏会」さらには会員の寄稿となっています。

主体は、あくまで会員の寄稿でありますので、原稿のない月はないへんな苦労をしますが、過去「東京だより」「ほたる草」などの連載よみものは、とくに好評を得ました。個性の端的にうかがえる「コーラス」も、いつも評判になります。

## ヴォーカライズのつどいとは

「ヴォーカライズのつどい」は、会員が一堂に会し、話し合い、興じ合おうというもので、たいへん要望の多い催しの一つです。しかし、その割りにいつも参加者が少なく、委員の泣きどころともなるこわい行事になっています。定期行事は冬の「クリスマス・うたのつどい」だけですが、このほかにもグループ、プロジェクトごとに企画され、実施されています。昨今では、東京や大阪の支部でも、こう

したつどいが開かれるようになっております。

## その他のこと

ナマの音楽をきくきっかけは、自分一人ではなかなか得られないものです。そこで、私たちの会では、手軽に鑑賞団体へ入れない人のために、そのお取り次ぎをしています。一方では、「招待席C」と銘打って、順次会員を音楽会に招待し、できるだけ多くの人に、ナマの演奏をきく楽しみを覚えていただくよう努めてきました。

そして、私たちのなかから巣立った若い演奏家たちを積極的に支援していく方針をとっています。昨年の暮れには、水野俊彦君（六）がリサイタルをし、桜山崇子さん（七）も故郷の舞台にデビューしました。今年は、つながりの深いシテイ・コーラスの公演もありました。こうした、私たち自身の手によって、私たちの仲間を励まし、大きく育て上げていくと夢みているのです。

それには、あなたの力が必要なのです。AKC出身者みんなの力があるのです。どうか私たちの仲間におはいり下さい。

A K C ヴォーカライズ・これまでの歩み……

年度	名称	役員	組織と選挙	主な行事と概要
29年度	A K C 同窓会	会長 加藤 清4 副会長 水野俊彦6 △桜山崇子7 会計 安田良江6 △水野令子8 書記 石田千鶴子4 編集部 若林延昌5 西野磨里子5 △安藤 允子8	四期生以後の卒業生および在校生全員を会員とする。会費ナシ。間接選挙で、各期二名の委員を出していた。	六月発足： 「A K C 同窓会報」第一号「アカペラ」第二号を発行するも九月には実質的に解消のうきめをみる。秋の音楽部発表会には卒業生、在校生合同の混声合唱により「オレんじはかおり」で出演
30年度	A K C ヴォーカライズ	会長 加藤 清4 副会長 △水野令子8 会計 浅井幸三5 委員 水野俊彦6 安田良江6 桜山崇子7 小川恵津子7 △金谷京子9 △丹羽好江9 △鈴村京子9	組織方法は前年度とほぼ同様。会費50円。委員は各期一名とし、常時在名しないうものには代理を認めた。21名	八月発足： 「ヴォーカライズ」1、2号を発行 四月総会を開いたが出席者少なく、役員改選の手續きとれず自然消滅 一月に行われた発表会に「美しく青きドナウ」を合同合唱する
31年度	同上	会長 浅井 幸三5 副会長 若林 延昌6 田中 蓉子6 委員 西川 弥子7 水野 令子8	卒業生有志のみによって結成。実質的には5期生以降となる。会費100円 役員選挙は全会員の投票による直接選挙。 会員数 21名	十月発足： 「ヴォーカライズ」の月刊制を確立 今日この会の形態の基礎を築いた 会費は100円だが、実際には半年の活動期間しかないため、次年度からの200円と同額といえる またこの年から、クリスマスごとにA K C との共催で「クリスマスのつどい」を行なうようになった
32年度	同上	会長 浅井 幸三5 副会長 中尾 桂二7 委員 景山幽香子5 福岡二三子7 上前 佳子8 石井よし子9	組織および役員選出方法は前年度と同じ 会費はこの年から年額200円と正式に決定された。 会費納入者は 21名	四月―三月 「ヴォーカライズ」月刊企画として「キャンションシリーズ」「招待席C」の本を実施、好評を得る 「また一旭丘高校音楽部史(昭和28年―30年)カデンツァ」を発行。また、前年度「ヴォーカライズ」に連載された景山幽香子会員の「東京だより」も一冊にまとめられた。
33年度	同上	会長 浅井 幸三5 副会長 水野 令子8 委員 景山幽香子5 中尾 桂二7 森本 進10 △渡辺 義彦11 △横橋 貞雄12 △増田 禮13	一応基礎が固まったとして在校生からも会員を募りその有志の参加をみた。正規の会員(会費を納めたもの)は 35名にふえた	四月―三月 「ヴォーカライズ」と刊「アンコール」(音楽紙)を一月より月刊で発行。「シックスシリーズ」および「招待席C」を企画として継続。東京、大阪地区でヴォーカライズのつどいを開催。会員数の増加もあって各事業も順調に進み充実した年になった。
34年度	同上	会長 浅井幸三5 副会長 水野 俊彦6 森本 進10 委員 ◎桜山 崇子7 ○中尾 桂二7 村田 陽子7 大橋 佑子10 △横橋 貞雄12 △藤野 絢子13	すべて前年度どおり。委員としては、この年から東京・大阪の両地区代表◎印を加えることになりこれも投票によった。 会費納入者 41名	四月―三月 「ヴォーカライズ」と「アンコール」を月刊。断続的に「招待席C」も行ない、「シックスシリーズ」の強化に努めた。水野俊彦、桜山崇子両会員が名古屋の舞台上にデビュー これを支援する。行事はあまり開けなかったが、小ブロックの会合はしばしば持たれた

1960. 4. 1 (金)

# VOCALIZE

No. 43

AKCヴォーカライズ機関紙

浅井幸三

袋

伊藤 真蒼

小鳥の唄を入れておく  
赤い袋はないかしら。

野薔薇の会話(はなし)をしまつとく  
青い袋はないかしら。

もしもあるなら夕ぐれの淋しい空に  
開けてみよ。

きつと可愛いいささやきが  
虹のようにも消えるだろ。

…「日本童謡集」より

### Vocalize <44号>

- 昭和三十四年度反省号
- ・委員の反省(浅井. 森本) …… 9 12
- ・会員の声、委員の答え …… 6 7 8
- ・記事、行事、企画一覧 …… 14
- ◇ ニュース欄、告示など …… 2 3
- ◇ コーラス(会員近況) …… 4 5
- ◇ 「続ほたる草」(1)(山川真継) …… 10
- ◇ 京の春を訪れて(原まき子) …… 11
- ◇ プロフィール 志水照代さん(十三) …… 13

### 5月の演奏会

名古屋 ◇ C M ◆ P M ■ ステージ

- ◆ ペレス・プラード・ショー
- 3日 昼夜 市公会堂
- ◇ アカデミー弦楽四重奏団と鈴木章治演奏会
- 3日 夜 文化講堂
- ◆ ニール・セダカ公演
- 11日 昼夜 市公会堂
- ◇ W・シユタフォンハーゲン・ヴァイオリン演奏会
- 15日 夜 17日 昼夜 市公会堂
- 二期会歌劇「椿姫」公演
- 16日 夜 17日 昼夜 市公会堂
- ◇ マリア・スタダ独唱会
- 17日 夜 文化講堂
- ◇ 東京フィルハーモニー交響楽団演奏会
- 20 21日 夜 市公会堂
- ◆ 古賀ギター・アーヴェント
- 22日 夜 文化講堂
- ◇ リュシエンヌ・ラデイス。チェロ演奏会
- 23日 夜 CBCホール
- ◆ モダン・ジャズ合戦
- 24 25日 夜 市公会堂
- ◇ パガニーニ弦楽四重奏団演奏会
- 27日 夜 文化講堂
- ◆ 藤沢嵐子タンゴの夕べ
- 29日 夜 文化講堂
- ◇ 鈴木雅恵ピアノ演奏会
- 30日 夜 文化講堂

※ 学校単位のもの省略しました。

昭和三十五年度 役員選挙

告 示

昭和三十五年度役員選挙を、つぎのとおり行ないます。所定の投票用紙で、必ずご投票ねがいます。

記

- 一、 選任委員 九名
    - 会 長 (一名)
    - 副会長 (二名) 以上全体投票委員 (六名) ブロック投票
- 会計は役員の互選とする

一、 投票方法  
 全会員名を記載した投票用紙に、つぎのように記入して、期日までに郵送して下さい。

- ・ 会長・副会長を全体から三名
  - 印を三人につけて下さい
  - ・ 委員を自分のブロックから一名
  - △ 印を一人につけて下さい
- 一、 投票締切  
 四月二十三日(土)：消印有効…

昭和三十五年四月一日

AKCヴォーカライズ

以上

役員選挙について(注意)

(1) 役員選挙の選挙権、被選挙権有権者は、三十四年度の会員およびすでに三十五年度からの入会を明らかにした人のみとし、この人たちの名は一括投票用紙にするしてあります。(特別会員は有権者としません)

(2) この投票用紙で近況報告をも兼ねるため今回は記名投票となります。ご自分の期と氏名を必ず記入して下さい。これは、集計上にも必要ですので、ご協力いただきますよう。(3) できるだけ、規定どおり四名(三名は会長、副会長として○印、一名はブロック委員として△印)を記入して下さい。そのうち一部について棄権されるのはやむをえません。○印を四つつけたり、△印を二つ以上つ

昭和34年度 会計事務報告書

収入	
会費収入 (41名分)	8,100
ヴォーカライズのつどい剰余	700
都築先生、若林君寄付	1,600
計	10,400
支出	
「Vocalize」発行費 (11回)	4,950
シックスシリーズなど写真代	3,050
水野君リサイタルプログラム	1,500
ヴォーカライズ会用ゴム印	400
連絡用はがきほか通信費	600
計	10,600

<注>資料・明細が不十分なため、今回も発行費および通信費は概数計算によった。発行費は一回当たり450円の計算(ページ数にかかわらず)また写真代には、つどいのさいの写真(スナップ)補助を含んでいる。会費収入(年200円)に差異があるのは、後期からの入会者一名を半額にしたためである。なお、シックスシリーズの多く、招待席Cのすべてが寄付で行なわれていることは従前どおりなので、この会計報告からは省略した。疑義については、浅井あて問い合わせされたい。

けたりすると無効になりますので、ご注意ください。

(4) 会長、副会長については、○印得票順に会長一名、副会長二名を決定します。またこの役員は名古屋在住者をお選び下さると、会の運営上に便利です。

ポストン交響楽団演奏会にご招待

役員選挙投票者のうち、抽選により一名をポストン交響楽団演奏会にご招待いたします。東京、大阪地区の方で、この日にお帰りにならない方は、別の機会にお招きします。招待席C四月の行事は、東京フィルハーモニー交響楽団演奏会(四月二十一日・名古屋市公会堂)に二名の会員をお招きします。



この欄はAKC出身者みんなの近況を知らせ合うためのものです。どんなことでも、だれのことでもお知らせ下さい。

◇：本年度、新しく就職、進学先の決定した人たちは、つぎのとおり。

- ・渡辺 義彦 (十一) 大阪大学経済学部
- ・安井 邦夫 (十二) 京都大学文学部
- ・鈴木 茂 (十二) 同志社大学
- ・泉谷芙紗子 (十二) 奈良女子大学 理学部
- ・加藤 厚子 (十二) 東京女子大学 文学部
- ・高橋 洋子 (十二) 名古屋大学文学部
- ・神藤 敏子 (十二) 三和銀行 名古屋支店
- ・加藤千鶴子 (十二) 野村証券 名古屋支店
- ◇：右のうち新住所の連絡のあった人。
  - ・渡辺 義彦 (十一) 宝塚市川面×××
  - ・鈴木 茂 (十二) 京都市左京区浄土寺上馬場町××
  - ・泉谷芙紗子 (十二) 奈良市北魚屋西町×××
  - ・横橋 貞雄 (十二) 東京都中野区×××

◇：石井よし子さん(九)は、三月いっぱい瑞穂小学校教員を退職、近く東京へ移られる。お父さんの定年が迫ったため。

◇：ことし三月旭丘を卒業したAKC二期生たちは、オペレッタ「影をなくした男」を録音テープに収めてAKCに残すことになり、三月二十七日、旭丘音楽室に関係者が集まってその録音をした。

◇：新卒業生を励ますヴォーカライズのは、三月二十二日夕、浅井会長宅で行われた。折あしく国立二期の試験日と重なったりしたため、参加者は永井(七) 森本、大橋(十) 神藤(十二) 水野公(十三) 浅井(五)の六人だけだったが、楽しいひとときをすごした。

一方、四月三日午後には、森本副会長宅に鈴木茂、鈴木道、泉谷、神藤の四人の二期生が集まり、森本、浅井両君とともに、ゲームなどしてくつろいだ。

また泉谷さんの奈良行きを前に、四月六日夜には神藤、鈴木道、浅井のメンバーが、泉谷さんを招いて伏見町「平和園」で、ささやかな送別の宴を開いた。

◇：新年度の会員名簿を次号に掲載したいと思えます。新入会の方、あるいは異動のあった方はご協力ねがいます。

：東京地区の皆さんへ：

「フランスの中世世俗音楽と

バロックオペラの夕べ」

：ぜひおききください！

桜山崇子さん(七)が名を連ねるフランス歌曲研究会では、このほど「フランスの中世世俗音楽とバロックオペラの夕べ」を催すことになりました。東京地区の皆さんのご支援をお願いします。

四月21日(木) 6:30 大和証券ホール

独唱 桜山崇子・安齋彩子・田巻

和子・東 智子・東 学

合唱 フランス歌曲研究会 アンサンブル

指揮 萩原 英彦

合奏 中世音楽合奏団

ピアノ 井上 二葉

◇十三〜十四世紀のシャンソン

◇十五〜十六世紀の世俗合唱曲

◇十七〜十八世紀のオペラ

【会員券】 二〇〇円

桜山さんの歌う曲は、マルク・アントワーヌ・シャルパンティエ「森に百千の花の群を抱けるせせらぎよ」カンプラ「ヴェネチアの饗宴」より「蝶の歌」の二曲。

お出かけくださる方は、東京都杉並区×××桜山崇子までご連絡ねがいます。

なお、大和証券ホールは、東京八重洲口、大和証券ビルにあります。

## Chorus



1960年3月下旬  
—順不同—

大橋 佑子 (十)

試験が終わってイザ！というときに、試験前、中の夜ふかしがたたってすっかり胃を悪くし、それがなおったと思うとカゼをひいて目下胃の薬とカゼ薬のおセワになっています。南紀州へ旅行しようと思っておりましたが、それも中止でクサッています。

約一年、ナンダカンダといってサボってばかりいまして、多くの方々にご迷惑のかけっ放しだったことをお許し下さい。今年からは心を入れかえてもっとヨイコになります。ヨロシク。

松沢 暢夫 (六)

僕の生活は全くいつもながら「相変わらず……」ですが、六甲連山のながめは二日と同じ日がありません。遠く見える日、近く見える日、彫りの深く見える日、平板に見える日。日没後一時間ぐらいのときのながめが僕は一番好きです。青黒い空にくっきりと浮き上

がったマツ黒な山。そのふもとには灯火が点々ともあり、赤や青のランプもすこしまざっている。そして西の雲にはうっすらと赤味が残っている……。こんな景色が毎日見られたらよいのですが、たまにしか見られないのが残念です。海と山にはさまれた神戸。山ばかりほめると海がヤキモチをやくので、次の機会には朝の海のことでも書きましよう。

ア、僕ですか？とても元気です。

桜山 崇子 (七)

とにかく忙しすぎます。

三月十八日 第一生命サロンにてドビュッシー歌曲サロンの夕べ。これは音楽会というよりか楽譜の出版記念のようなもの。その楽譜にのっている曲を五人でわけて歌いました。私は四曲。

四月二十一日に大和証券ホールでフラ研（フランス歌曲研究会のこと）フランス・クラシックの夕べ。十二、三世紀からグルックまでを取り上げます。私は十七、八世紀のものを二曲。それからアンサンブルを数曲いたします。この準備のため、毎日写譜と練習に追われています。なお、同じころテレビにアンサンブルで出るはず。

とにかく、こうしたものに出るはずだったコロナチュラのNさんが大阪でルチアにデビューすることになったので、私はその人の代役でこのとおり忙しくなりました。

四月末までかかって職がみつからなかったら帰るかもしれません。オヤジのスネはもうかじれなくなりました。

千本木宣子 (十)

二月二十一日から二週間、名古屋市立第一幼稚園に教生に行きました。すでに小学、中学で経験済みのものであり、幼稚園だからと軽い気持ちで行ったところが、あにはからんや、先生先生と、からだ中にとびつかれ、遊び疲れて、その眠いこと眠いこと……。終わったときには全くほっとしました。

定期演奏発表会のあとで、音楽科の二年全員で紀伊半島へ遊行しました。産地のだからさぞ安いだらうと、フロ敷を用意していきましたところ、あまりの高さにびっくりして買わずに帰ってきました。(みかん)

横橋 貞雄 (十二)

浪人確定、一年間がんばる。

森本 進(十)

。四月からはそれでも三年生になります。大学に入ってから何もしないでアホくさいなあと思って二年すぎましたので、あと二年はせいぜいアホくさくないようにしましょうかね。しかし、岡崎はちと遠いので朝寝ができないのであります。ハイ

。僕のような全くのシロウトでも歌わせてくれる合唱団を求めます。ただし、よくサボれるところで会費のやすいところで、家からそんなに遠くないところで、やさしい曲をうたうところがいいですね。ダメかな。

へ……委員の仕事をサポートだから。(かげの声)

鈴木 道郎(十二)

。都落ちしてから三カ月ちよつと。姉も嫁いで現在母と二人きり。とても静かです。一丁も行けば濃尾平野がひろびろと、ずっと向こうまであるのです。近くに土手があるので、よく寝っコロガリに行きます。のどかです。もっとも暖かくなるとママシが出るそうですがネ

。このところヒマなものだから、食事

が楽しみでネ。食っちゃ寝エ、食っちゃ寝エして、少しずつふとっていくような感じ。

増田 禮(十三)

修学旅行の影響で、まだ心身ともにフワフワしております。でも、一年のうちで一番好きな春がくると思うと、何となく幸福感を味わいます。

三年になってからのクラブ参加、努力はするつもりですけれど、私にはどうも無理なようですネ。

藤野 絢子(十三)

二年最後の行事も終わり、ホッと一息したところで、二十日は音楽部も舞台に立つので助演に一役。当日はまたピアノの譜めくりというところでしよう。気が落ちつけば、旅行の一コマでも書いてみようと思っております。

水野 公子(十三)

ピアノの練習に大忙しです。

安田 軍二(十三)

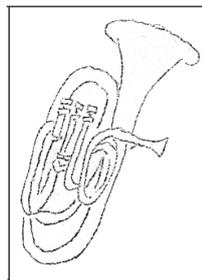
いそがしいけど、つまらん……。

浅井 幸三(五)

なぜだか、とても忙しくて、映画もロクに見に行けないので、秘書か助手がほしいと思います。もっとも給料のことまではうけあえぬが、それでもいいという人を採用したいと思います。顔のひろいヴォーカライズ会員諸姉姉にお願ひします。適当な人を捜して下さい。(自身立候補されても、もちろんけっこうです)何ごとにも没頭できる性格の持ち主が望ましいのですが、できればムクツケキ男の子よりも、女の子の方がよろしい。ただし、彼氏のある子、腕力の強い女の子は、けんかするときに思いやられるので願ひ下げます。音楽好きならなおけっこうで、給料は払わないかわりに、一生懸命音楽会へ連れて行ってあげます。…待てよ、よぶんなことを書きすぎたらしいゾ。最後の部分はサクジョしいと思ひます。とにかく、ヒマな人は「ヴォーカライズ」のためにも、多数応援にかけつけられたし。



## 会員の声・・・



## ・・・委員の答

## 代表討論：

ヴォーカライズ会員すなわち「Vocalize」読者という感あり。共済タクシーのごとし。AKCヴォーカライズを「心のつながりを深める集まり」と第31号（PR版）はいつている。ずいぶんむずかしい目的をもっているものだと思ふ。また、同号掲載の規約第13条は「1、機関紙の発行 2、つどい開催 3、4、5……などの、目的達成のための事業を行う」ことをいつているが、現状をみると、「機関紙発行」のみのための各種事業であるように思われる。それは楽しいことだ。しかし、それだけなのだ。全会員がしていることといふのは。

全会員で何かできるものはないか。また、する義務をもたせてはどうか。名古屋だけにでも二十数名の会員がいる。これだけが一つの団体をつくつていて、ただ「機関紙」にのみたよるといふか、機関紙一本でやっていくとい

うのは、何かしらものたりない気がする。私には現状に満足されている方は、よほど忙しくてかまっていられない人か、よほど心安らかな人のように思えてならない。

「つどい」は開かれる。しかし、その性格からいつて、単なるレクリエーションにすぎず、二、三時間をただワイワイ、ゴソゴソしているだけでは、とても「心のつながり」は深めることはできない。お見合いのごく初期の世間話のようなものだ。もしできたとしても、それは同期生の間だとか、その中でもごく少数の、二人か三人の間にだけ成り立つものであつて、「お兄さま」「お姉さま」あるいは「弟」「妹」などという段階には、おそらく長時間を費やさない限り到達できないものと思ふ。だから、定期的、しかも短時間を隔てた全員による会合、歌うのもよからう。踊るのもよからう。討論するのもよからうし、食べるのも、飲むのもよからう。とにかく、全員がしばしば顔を合わせられるような、また合わせねばならないようなことをしようではないかとにかく、現在の会の運営方法は、スッキリしないし、会員諸氏の態度もよろしくない。現に「機関紙」は記事不足で、昨年度十三回発行（PR版も含む）のものが、本年度は七回にとどまつてい

る。しかも四ページが二回、水野俊彦氏に関するものが三回、水野さんがデビューしなかったらどうなったでしょう。これは何も委員の責任ではない。全員一人一人のごぶさたしているやつの責任なのである。（鈴木 道郎）

## その答え……

AKCヴォーカライズは、主としてタテのつながりを深める為のものであろうと、私もその方向については考えています。だから毎月一度の「つどい」をもつことには、もちろん大賛成です。みなさんがそれに参加してさえくれれば……。

たしかに、私たち委員は、この一年これといつて何もしなかった。「ヴォーカライズ」もよく休んだ。新しい企画もしなかった……。私たちに責任の大半はあるのです。しかし何かを企画して、それが失敗したときの悲しさは、委員として運営にタッチしてくれた人ではないと、わからないかもしれません。

「いろいろさしさわりができるから」といつて、あんなにも念を押したこの「アンケート」の回答（記入の有無にかかわらず）が、わずかに十四人だけだった事実を念頭に、これからの「声」と「答え」をお読み下さい。

今回の「会員の声」は、主として、「Vocalize」と「つどい」について質問したため、回答がごく限られたものになつてしまった。そして、何らかの意味で、

その意見を述べてくれた人は、遺憾ながら、わずかに八人であった。

：ヴォーカライズの会費：

★ いつも機関紙をいただくたびに思います。二百円の会費で、よくこれだけ立派なものができるものだ。もし赤字になっているようでしたら、どうぞ会費を高くして下さい。

☆お答え A K Cヴォーカライズの会計事務については、まことに申しわけないのですが、正確な数字ははじき出せません。その理由は、①会費の納入が円滑でなく、会員数の把握できない場合が多い②招待席C、シックスシリーズなど、個人負担のことが多い などがあげられます。ただいえることは、確かに決して豊かな財政ではないということ：考えてみて下さい。この「ヴォーカライズ」を送るだけでも月に八円、その発行費を一部当たり二円と見積もつての予算が、どんなに苦しいものか、わかっていただけだと思います。けれども、さしあたって会費を値上げするという考えはありません。私たちが、もつといろいろなことをするために、いままの財政的余裕があるのだ、ということが皆さんにわかっていただけなら、そのときにこそ、大っぴらに会費を値上げします。単に「ヴォーカライズ」を発行するだけなら、二百円のワク内でもやれるのですから。

：「Vocalize」をめぐる：

★ 時折、印刷不鮮明のため読みにくいものもあります。

★ 時々、印刷の読みづらい部分がある。

☆お答え 印刷の点については、私もつねづね反省しております。いくらしろろとのやつつけ仕事だからといって、読みづらくていいというわけではないのですから。印刷屋に出すということも考えないわけではないのですが、これは財政的に無理です。改良に努めますので、多少のところはおみのがしください。

★ 「コーラス」をもっとたびたび。

★ 「コーラス」は毎号載せよう（不可能ならば二号に一回）

☆お答え ご意見に賛成です。それにはまず、会員諸兄弟が協力して下さることが必要です。くどくは申しません。いままでの「コーラス」欄をごらん下さい。協力して下さる人はとても少なく、限られているのです。この一年、私たちが「コーラス」を集めるための努力を怠り、はがきアンケートも一度しか行なわなかったことについてはおわびしますが、乏しい財政のうちから、失礼だが、三分の一の返信すら望めぬ仕事に、どれだけ投資する気になれるか、お察しねがいたい。

★ 「A K Cだより」のごときもの、その他何でも皆の書いたものを。

★ A K Cのニューズ、現役による文章など、一ページぐらいを「A K Cの欄」というようなものにしたらどうでしょうか。できたら毎

号に掲載していただきたい。

★ 母校の様子（音楽関係に限らず）を載せてほしい。

☆お答え 「A K Cだより」一ページ案は委員会の方針として決定していました。ただ、その取材、編集に当たる在校生側委員が、あまり熱心に支持してくれなかったという、あまりに内情バクロになりすぎること。在校生側の協力に待ちます。

★ 「プロフィール」は一月に一人がよい。

★ 「プロフィール」の文章が型にはまっておもしろくない。トツピなのを。

★ 「プロフィール」のスピードアップを。

☆お答え ①「プロフィール」は、当月二人を続けたいと思います。全会員ひとまわりしたら、違った角度から一人ずつ取り上げるのもおもしろいでしょうが、いまのところは、できるだけ早くみんなを紹介し終わることが大切だと思っております。②正直に申します。「プロフィール」には一定のワクがあります。必要最小限の紹介を欠かせないし、スペースが狭いからです。そのため、せっかく会員の方に頼んで書いてもらったものをボツにしたことすらあります。申しわけなかったのですが、全然知らない人を意識する場合、あるいは記事の内容に制約される場合、多少ワクにはまることは避けられないのではないのでしょうか。もちろん、執筆グループがひろがれば、おのずとスタイルも変わってくるでしょう。私はその方を期待します。私は私なりに新味を出すよう努めたつもりですが。

★ なにも音楽にとらわれることはない。  
 ★ 随筆などという堅苦しいものでなく、もつと気軽にいろいろ書けるような欄を設けていただきたい。

☆お答え 音楽にとらわれるつもりはありませんし、現在のところ「随筆」欄というものもありません。寄稿はどんなものでも載せています。ただし、原稿が全然なかったりするため、企画として音楽関係の記事が多いのは、会員の好みの最大公約数として音楽を使っているからで、他意はありません。

★ 記事の掲載方法について、巻頭と巻末は現在、すでに毎号決まった形になっているが、その他（ニュース、お知らせ、コーナーなど）の掲載場所の不一致が目立ち、あまり快くない。

★ 「お知らせ版」「ニュース」等、皆が一度は必ず読まねばならぬもの、あるいは読んだ方がよいものは、欄を統一した方がよいのではないでしょうか。また「お知らせ版」を「委員会だより」として、「ニュース」「委員会だより」等、伝達の徹底とコンテンツトな掲載を図る。またAKC関係のもので特にニュース性の大きなものは「ニュース」に、そうでないものは「AKCだより」に載せる。

☆お答え ①毎月一定の原稿量があれば、決まった掲載方法も可能ですが、四ページになったり八ページになったりでは、たいへんむずかしいことです。大体、大きい記事、堅いことは前の方に、軽いも

のなどはあとの方へという方針をとっています。不統一といわれれば、たしかにそのとおりです。しかし、早急に統一する方向は望めないし、しいて統一させる必要はない、と私は思うのです。いかがでしょうか。

②お知らせ版、委員会だより、ニュース、AKCだよりの区別は、いまのところ判然とさせていませんので、ごいけんはよく承っておき、これからすっきりした形にしたいと思います。

★ 音楽部の人気者（プロフィールのほかにつけ加えて）を載せたら？ どなたか似顔絵の上手な人はいらつしやいませんか。人気者の記事に出せば、もつとおもしろくなると思います。

★ レコード新譜紹介は？ 「ヴォーカライズ」でなくて「アンコール」にでもつけようです。

☆お答え ①「人気者」もけっこうですが、個人的なものが多くなりすぎるくらいはないでしょうか。それでもよければ考えてみますし、一期ごとの「私たちの仲間」というのもプランにはあります。

②残念ですが、新譜紹介にまでは手が回りかねます。会員のみなさんのなかで、レコード通を自負される方がみえれば、その方にお願したいものです。

…ヴォーカライズのつどい…

★ 会員の親睦をはかる「つどい」の中核となり推進軸となることに専念して、他の一切の行事をやめることを提案する。

★ 「招待席C」はとても良いと思えますが、「つどい」は何だか心から先輩の方々とは込めないような気がします。もう少し内容をくふうしたらどうでしょうか。

★ 今までの「つどい」はいつも夜に行なわれています。お勤めの方の都合もあつてのことと思われませんが、土曜、日曜の午後、明るいときにやっていたらいいと思います。

★ ピクニックに行こう。

★ 合唱またはオペラ（できなければオペラ）等、一度皆でワーツとやろう。

☆お答え 「つどい」は一番むずかしい行事であり、一番大切な行事であります。しかし、根本は皆さんが集まってくれること。人がいなくても何もできないのですから。ご意見にそつて企画を立て、楽しいつどいをつくり上げていくよう、委員会は努め、みなさんはそれを支援して下さること…それがこの答えのすべてです。

…その他、あれこれ…

※好評だった記事：松沢君の「水野君のリサイタルに思う」と特集「水野君と桜山さんのデビュー」

※評判のよかったプロフィールの：松沢暢夫君と加藤幽香子さんのもの（写真・記事とも）

※よく読まれていると思われるもの：①コーラス②ニュース③プロフィール④合唱団めぐり

※とくにやめた方がよいとされるものは、（二）の少数意見はあるが）みられない。

☆ よくサボったくせには、強気な答えをしたのは浅井幸三、簡単に低姿勢に変化したのも浅井幸三の担当でした。おわり。



## みんなが夢を…

できの悪い会長の

告白と希望と…

浅井 幸三

正直に告白します…。四たび会長を勤め正味三年六カ月をすごしたうちで、この一年ほどふできな、そして自分自身、みじめな思いにかられた年はありません。「ヴォーカライズ」は三度も休み、「つどい」は一回も満足に開けず、「招待席C」もぐらつき、おまけに委員会すら低迷を続けて、おそらく、皆さんの期待とは、ほど遠い成果しかあげていないと思います。これで、自分が会長としてその職務を十分に果たしたとは、決していえません。忠、ひたすら、自分の至らなさを恥ずかしく思い、申しわけなさに、このまま身をひきたいとさえしています。

でも、ヴォーカライズ自身は、決して先に望みのないものではありません。むしろ、これから先、ますます伸び、いよいよ栄えていくに違いありません。もちろん、それにはいい役員が必要なのは当然としても、それ以上に望まれ

るのは、みんなが少しづつ力し合うことであります。まじめにヴォーカライズを思い、ほんとうにヴォーカライズを愛して下さるなら、このAKCヴォーカライズの隆盛は、いささかの疑いも入れないであります。その反面、いくら偉い役員が出、スーパーマン的な名委員が生まれても、あと推しを得られずしては、見通しは暗くなる一途となります。

この一年、私の至らなさを自覚しつつ、私はまた、いくどもこう思いました。「原稿がほしい」「つどいにはなぜ来てくれないのだろう」「私が病で倒れたとき、代わってやってくれる人がいてくれたら」「みんなが一月に一日でいいから、ヴォーカライズのために時間をさいてくれたら」…と。不幸にして私は超人でもなければ、寛容の心の厚い君子でもなく、ましては独走をよくするワンマンでもない悲しさに、投げ出したくなることすらありました。あるときは、頼みごとをした人から「いま忙しいから」とあっさりはねつけられ、どんなにくやしい思いをしたかしれません。けれども、ここではグチはやめましょう。

私は夢をもっています。AKCヴォーカライズといえば、だれにでも通じるように、少なくとも名古屋では、名の通った団体にしたい。会員の家へ電話して、その家族の人にも「ヴォーカライズの〇〇です」といえば話がわかるようにしたいと思います。

また、地元の演奏家を支援する団体としても、世間から信頼されるようになりたいものであります。

ヴォーカライズの歩みは、遅々たるものでありましょう。が、しかし、決してとどまることなく、つねに前へ前へと歩を進めていきたいと心しております。

この一年、いろいろなことを思い浮かべます。失敗したこと、うれしかったこと、無性に寂しかったこと、ありがたさを味わったこと…それが、私、すなわち会長ひとりの感慨に終わることなく、会員みんなの胸のうちに通じ合うときこそこのヴォーカライズは安定した地位を占めているのであります。この夢が、みんなの夢であってほしい。私はいまも、そう思っています。

## 続・ほたる草 (1)

山川 真継

また野の草むらにほたる草の花の咲く季節がやってきた。うすむらさきの質朴な小さな花が露にぬれて、隠れるように遠慮しながら顔をのぞかせているさまは何とも愛らしい。そんな花にも似た、小さく愛らしい真弓の姿が地に散ってから、早くも暦が一巡したことになる。真弓の一周忌を前にして、私は、自身の休養をも兼ねて、真弓をたずねるために十日ほどの休暇をとって帰郷することにした。

S 駅で急行列車を捨てて乗りかえた、ひなびた風景にふさわしい旧式の機関車のひく短い列車が長い国境のトンネルを越え、下り坂に勢いを得て急に活発に走り出したころには、さしもの長い真夏のたそがれ時も、ようやく暮れようとしていた。黒い、というよりも、暗い紫色の遠い山々と、青黒い空とが、消えぎわにぼっと明るくなった焔を思わせるような夕焼け雲の赤をはさんで、妙に美しいコントラストをなしていた。ぼつぼつと姿を見せ始めた星がその美しさを一段と引き立てていた。車窓に点々とする誘蛾灯の紫だけきわ立って

明るいのが寂しく美しかった。闇になる一瞬前の空と、ぎっしり繁茂した稲田とがどこまでも続いて、その先に山々が黒く、長く連なって寝そべっていた。

床下に、シューという空気の音に続いてコーッとブレーキのかかる音がして、列車は速度を落した。カーブを大きく左に曲ると、列車は車輪をきしませて私のふるさと、N 町：といっても最近いくつかの農村が集まってできたただっぴろい町だが：の東 N 駅に止まった。「東 N、東 N」いつも聞きなれた駅員の呼び声に迎えられて私はホームに降り立った。

今から一年前、私は歯をかたくくいしばって涙をこらえながらこのホームを去った。そのホームに私は今、こうして立っている。一年半前、私は、窓から身体をのり出して手を大きく振りながらこのホームを去った。真弓が涙をほとほとこぼしながら手をちぎれるほど振って、ホームの端まで追いかけてきた。汽車が見えなくなつてしまつてからは、そばに詰んである荷物にうつぶして泣くこともできずにいつまでも動こうとはしなかつたという真弓。そのホームに、私は今こうして立っている。すすけた屋根も、何度も何度もペンキをぬりかえた柱も、そのホームに止まっている列車も、みなそのときのままなのに、真弓だけが別の世

界に行つてしまつた。私を残して、思い出を残して、ほたる草のところに行つてしまつた。

数人の乗客を降ろし、新たな客をのせた列車は荷物の積み込みを待つて、いとも悠長にガタン、ガタンとレールを響かせながら出ていった。機関車と荷物車と客車が二両ずつの短いローカル列車の二つの赤いテールランプが、ひどく印象的で、寂しさをさそう美しさだった。その二つの赤がゆつくりと遠ざかり、一つになり、やがて闇にすいこまれて消えていった。私はぼんやりと、しかし、それを確認するためかのように見送つてからわれに返り、急いで出口に向つた。出口には、私一人のために、若い駅員が立って待つていた。私が切符を渡すと、私のために長い間待たされたことにいささかの不満も見せず、録音機のように「御乗車ありがとうございます」といって事務所に入つていった。畑の中の納屋みたいな小さな「田舎的」な駅と、その若い駅員の「事務的」な態度が正反対でありながら何かふさわしいような気がした。

(つづく)



## インチキ副会長

## の反省

森本 進

ただの委員としてさえ、一人前の仕事をしなかった私が、副会長にえらばれたのはどういうわけか知りませんが、それを引き受けた私は、よほどのバカか、出しやばりのどちらかか、両方であるにちがいないようです。

副会長と言うのは、会長の職務を助けるために置かれたものでしょうが、浅井会長と水野副会長にみんなやらせてしまつて、私は何もしませんでした。お二人に深くおわび申し上げます。特に浅井会長には一方ならぬお世話かけました。ここに記してお礼申し上げます。また私に投票して下さった会員の皆様にはまことに申しわけありませんでした。

先年度からのシックスシリーズでは、在校生二人をただで、写真機が九月に被災してだめになってしまいました。これが、これをまた永井さんが引き継いで下さいました。私がすると、どうしてもつかまえず、在校生が中心になつてしましますが、永井さんは会員の

家まで出張された由、ほんとうに頭が下がります。私も少しなまか・わをやめて、みならうことにします。このシックスシリーズは、来年度もつづけていきますが、写真機が被災以来、ぐあいが悪くなるようになりましたので、三十五ミリの写真機とかえようかと思つていきます。そのときにはまた改名ということも考えられますが、これらのことは、そのうちに決めることにします。

この一年、ヴォーカライズにとつては水野さん、桜山さんのデビューリサイタルや、西川さんや景山さんのご結婚など、うれしいことがたくさんありました。ケ、他方ではとんでもない台風がきましたし、在校生との親睦会は全く失敗に終わってしまいました。ヴォーカライズの目的は、在校生と卒業生との親睦にあることからして、親睦会の失敗は一番残念なことです。在校生の皆さん、親睦会にご協力下さい。卒業生の皆さん、なるべく都合をつけてご参加下さい。これが来年度に持ち越された第一の課題と思ひます。私はこれに対して何もできませんでしたが、来年度の委員の皆様によって、親睦会がうまくいき、そしてヴォーカライズがもっともつと発展することを祈ります。

*Invention*

○：いろいろと計画して、少しでもそれを満たしたいと思つた反省号も、やはり順調に進まず、とかく障害の方が多いようである。それでも十四ページという、かつてない大冊?になった。これでアンケートが所期どおり集まり、委員の反省がみなきてさえいたら、もっともつとズッシリしたものになつたらうに……。

○：都合で掲載できなかったものには、合唱団めぐり(3)が座談会の日取りがとれずに、またプロフィールの足立さんの分も記事の関係で、というぐあいに二、三あるが、これは次号へ回したい。

○：とにかく、そうした原稿待ちなどのため発行は遅れる一方だし、カットイングも進まない。締切は毎月二十五日であるのに、先月おそかつたから、こんどもそのくらいでいいだろうと思う向きもあるようだった。それではますます遅れるばかりだ。

○：役員選挙の投票は、せめても八〇パーセントをこえてもらいたい。そして、これからは、どんな企画(たとえば招待席Cのなかで)でも、協力してくれる人優先ということにして、その労に報いたものだ。

プロフィール

親切で、サッパリしている

志水 照代 さん  
(十三期)

志水照代さんといっても、ズート先輩の方々にはわかりかねるかもしれないが、彼女は、われら十四期生にとって欠くことのできない朗らかなお嬢さんである。

彼女は一年生の一月、バレーボールクラブから入ってきた。はいつて間もないころは今とは雲泥の差？のおしとやかさで、何ごとにも消極的だった。しかし、人なつっこい、そして何ごとにも熱心な彼女、二年生になったころからたいへん積極的に協力してくれ、陰ながらいろいろとクラブのために知恵をしぼってくれた。

知らず知らずのうちにクラブ内の融和を図り、一層楽しいクラブにしてくれたのも彼女独特のあの「明るさ」であろう。親切でサッパリした性格は、だれからも人気がある。また、人一倍負けずぎらいで、しっかりと考えて行動する態度は、何かと相談できる人である。

去年の文化部対抗バレーボール試合では、持ち前のフアイトを出してがっ

ちりとチームワークをつくり、堂々二位を獲得するという活躍ぶりもみせてくれた。スポーツといえば、彼女、水泳をはじめとして何をやっても万能だ。のびのびとした青春の美しさが感じられるのはそのせいかもしれない。

彼女と話していると、だれもが感じるのは「なんてよく笑う人かしら」ということだろう。ほんとに、彼女と話していると楽しい。しかし、彼女、オチャメのようだが、おセンチな面も多分にあることをお忘れなく。そして、彼女がとてもロマンチックな少女であることも…。趣味は読書、そしてコツコツと手芸をやること。また、お琴もたいへんおじょうずです。

昭和十七年  
八月生まれの  
末っ子。(T)



プロフィール・シックスシリーズ  
掲載者一覧表

氏名	期	掲載号	執筆・撮影者
安井 邦夫	12	12号	鈴木道・森本
神藤 敏子	12	15号	浅井・森本
水野 俊彦	6	15号	浅井・森本
水野 公子	13	15号	鈴木道・森本
鈴木 道郎	12	15号	鈴木道・森本
渡辺 義彦	11	15号	鈴木道・森本
千本木 宣子	10	15号	森本
中尾 桂二	7	15号	大橋
鈴木 茂	12	15号	浅井
増田 禮	13	15号	横橋
上前昌三郎	9	15号	神田
増田 容子	6	15号	浅井
森本 進	10	15号	浅井
藤野 絢子	13	15号	増田禮
安田 軍二	13	15号	藤野
松沢 暢夫	6	15号	浅井
村田 陽子	7	15号	浅井
川村 朋子	13	15号	浅井
加藤 幽香子	5	15号	藤野
桜山 崇子	7	15号	浅井
永井 充	8	15号	浅井
志水 照代	13	15号	川村

※注※ すでに「キャンソンシリーズ」で取り上げた人も、「シックスシリーズ」に改めて取り上げます。次号は足立孝子(一六)およびヴォーカライズ会長、AKC部長などから二人の予定。

## A K C ヴォーカライズ

## 1959年度 行事・企画一覧

→ 機関紙 Vocalize (月刊) 主要記事 ←

- 第34号 34年 5月1日 6P 「ペンをとろう」(役員選挙結果)(CHORUS)  
 第35号 6月1日 4P 「フェスティバルホールにて」・合唱団めぐり愛学大  
 第36号 7月1日 6P 「愚論」「新聞と音楽記事」(会員名簿)(AKCだより)  
 第37号 9月1日 4P 特集[水野俊彦リサイタルを控えて]  
 第38号 10月1日 4P 「水野君のリサイタルに思う」(お知らせ版)  
 号外 12月1日 2P (クリスマスのつどい)(水野君リサイタル祝賀会)案内  
 第39号 35年 1月1日 8P 特集[水野俊彦リサイタルとフランス歌曲の夕べの桜山  
 崇子さん] (CHORUS)「AKC発表会をきいて」(ニュース)  
 第40号 2月1日 8P ・合唱団めぐり①名放唱  
 ・招待席C<シュタフォンハーゲン>  
 第41号 3月1日 8P ・合唱団めぐり②シティ・コーラス(AKCだより)  
 (ニュース)  
 第42号(臨時) 4月1日 4P 特集[AKCヴォーカライズの目的、行事、その歩み]  
 =PR版=  
 第43号 4月1日 14P 特集[AKCヴォーカライズ34年度を顧みて]  
 (CHORUS)「続ほたる草」①「京の春を訪れて」

一注一 [ ]は特集、「」は寄稿、・は企画、( )はニュース的なもの

→ 招待席C 参加者 ← 34年

- 第20回 青年グループ「三文オペラ」 7月21日 文京公会堂 景山幽香子  
 第21回 江藤俊哉(V) 9月6日 文化講堂 近藤譲子・伊藤真知子・  
 山崎満寿枝  
 第22回 W.シュタフォン 35年  
 ハーゲン(V) 1月31日 文化講堂 谷美保子・二井真智子  
 第23回 アカデミーウィーン合唱団 3月16日 市公会堂 足立孝子  
 第24回 五十嵐喜芳(テノール) 3月31日 文化講堂 毛利 豊・竹内英子  
 第25回 ペレス・ブラード・ショー 4月3日 市公会堂 志水照代・野村圭子

→ 各種会合 (AKCヴォーカライズ主催) ←

ヴォーカライズのつどい

- 第1回 (名古屋) 34年12月8日 栄町「プランタン」参加者 34名  
 第2回 (名古屋) 35年1月7日 今池「鳴門寿司」 9名  
 第3回 (名古屋) 3月22日 豊前町 浅井方 6名  
 第4回 (大阪) 流会

クリスマスうたのつどい

- 第4回 (年次) 34年12月20日 旭丘高校音楽室 参加者

定例委員会

- 第1回 <5月16日> 第2回 <7月4日> 第3回 <8月13日>  
 第4回 <12月8日> 第5回 <1月7日> 第6回 <3月22日>

1960.5.1 (日)

# VOCALIZE

No.44

AKCヴォーカライズ機関紙

編集 浅井幸三

おぼえてる

佐藤 義美

川べりの

草道の

草の匂をおぼえてる

草の上まで

水がきて

川いつぱいの朝の陽も

水を離れた

水雉子(みずぎじ)が

お空にあがる時の虹

肢(あし)のあいだの

ちいさい虹を

私は今でもおぼえてる

## Vocalize

<44号>  
 ◇ニュース・委員会だより……………3  
 ◇コーラス(会員近況)……………4~7  
 ◇みんなにきかせるひとりごと……………8  
 ◇プロフィール 足立孝子さん(六)……………9  
 ◇プロフィール 横橋貞雄くん(十二)……………10

## 5月の演奏会

名古屋 ◇CM◆PM■ステージ

◆ロス・トレス・デアマンテス公演  
1日昼夜 市公会堂

■ピラール・ロペス・スペインバレエ団公演  
10日夜 文化講堂

◇安川加寿子ピアノ演奏会  
11,12日夜 市公会堂

◆平岡洋一シロフォン演奏会  
13,14,16日夜 文化講堂

◆フランク永井リサイタル  
17日夜 文化講堂

◇ポストン交響楽団演奏会  
18日夜 市公会堂

◆ダーク・ダックス・リサイタル  
24日夜 市公会堂

◆百万人のラテン・ショー  
26日夜 市公会堂

◇チェコ・トリオ演奏会  
27日夜 市公会堂

◆岩崎洋シンギングピアノクインテット  
27日夜 文化講堂

■ミュージカル「貧しい国の貧しい歌」公演  
28日夜 29日昼夜 市公会堂

◇シユタフォンハーゲン・トリオ演奏会  
29日昼 CBCホール

会員名簿は別紙に印刷しました。  
名簿はデジタル復元していません。

三十五年度役員決まる

半数（とくに上層部）は留任

―新任役員は全部女性―

昭和三十五年度の役員選挙は、四月十六日から二十三日までの郵送方式による投票を行ない、つぎの新役員が決まった。

- 会長 浅井 幸三（五）
- 副会長 水野 俊彦（六）
- 同 森本 進（十） つどい
- 委員 村田 陽子（七） 機関紙
- 同 神藤 敏子（十二） 会計
- 同 川村 朋子（十三） 旭丘
- 同 矢野 公子（十四） 労音
- 同（東京） 金谷 京子（九） 東京
- 同（大阪） 中尾 桂二（七） 大阪

投票率は五割六分で前年とほぼ同じ成績にとどまり、全員投票の快記録を示したブロックもなかった。  
なお当初、委員に決まったAブロックの加藤幽香子さん（五）は都合で辞退、村田陽子さん（七）が繰り上がった。また、各委員の分担が、第一回の委員会でも下段のように決定した。

〔会長・副会長選挙得票ブロック別〕

白票	志水	鈴木	小川	中尾	松沢	毛利	安田	川村	千本	大橋	桜山	加藤	神藤	水野	森本	水野	浅井	投票数	計
	照代（十三）	道郎（十二）	恵津子（七）	桂二（七）	暢夫（六）	豊（五）	軍二（十三）	朋子（十三）	木宣子（十）	佑子（十）	崇子（七）	幽香子（五）	敏子（十二）	令子（八）	進（十）	俊彦（六）	幸三（五）	28	5
3	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	3	6	7	9	14	25	28	5
			1				1					1	1	2	2	3	4	5	5
	1			1				2	2		2	1	2	1	2		4	6	6
		1										1	1			3	3	3	3
													2	1	2	1	3	3	3
3					1	1				2					1	4	6	6	6

ブロック別投票率

	会員	投票	率
名A	11	5	.455
名B	9	5	.556
在A	8	6	.750
在B	7	3	.423
東京	6	3	.500
大阪	9	6	.667
計	50	28	.560

<注>会員とは、投票用紙に記載した有権者50人をいう。

〔ブロック選出委員選挙得票〕

ブロック	氏名	(期)	得票	注
名A	加藤幽香子	(五)	2	加藤さんが辞退されたため村田さんが当選
名B	森本 進	(十)	2	森本君は副会長に就任するので神藤さんが当選
在A	川村 朋子	(十三)	2	会長・副会長選での得票数が多い河村さんが当選
在B	矢野 公子	(十四)	2	
東京	金谷 京子	(九)	2	
大阪	中尾 桂二	(七)	2	

定例委員会は毎月一回開催します。この委員会は、お互いの親しさを増すためにも行なうことになっているものですから一般会員の方々が参加されるのを歓迎します。ぜひおいで下さい。



この欄はAKC関係者みんなの近況を知らせ合うためのものです。だれのことでも、どんなことでも、ぜひお知らせ下さい。

◇：今年度からの新入会員として、つぎの諸君を迎えた。なかには以前、会員であった人もおり、委員として働いていた有能の士も多いので、非常に心強い。

- 若林延昌 (五) 世古伊都子 (六) 安田良江 (六) 石井よし子 (九) 神藤敏子 (十二) 以上復会
- 井郷比呂子 (七) 佐藤治江 (十一) 泉谷芙紗子 (十二) 加藤千鶴子 (十二) 岡嶋孝 (十三) 高橋昭弘 (十三) 池谷芳子 (十四) 平山葉子 (十四) 矢野公子 (十四) 以上新入会
- ◇：若林延昌君 (五期・愛知学芸大学) は、新年度から愛知学大の委託生として東京芸術大学音楽学部フルート科に学ぶことになった。修学期間は二年。東京都台東区上野桜木町×××
- ◇：石井よし子さん (九) は、五月から東京へ転居された。なお、前号で、お父さんの定年について触れたが、その後急に東京支店長 (日本楽器) に就

任されることになったため、移転が早まった。

東京都大田区南千束町×××

◇：福岡二三子さん (七) は、三月いっぱい勤め (三和銀行金山橋支店) をやめられた。目下は花嫁修業中。

◇：AKCの部長高木渾祐君 (十四) はこのほど辞任、後任の部長には佐藤征夫君 (十四) が決まった。

また、AKCでは五月二十一日にJRC、童話部などとともに県盲学校を慰問、合唱することになっている。

### 委員会、だより

◇：本年度第一回の委員会を五月一日午後、浅井会長宅で開き、中尾、森本、川村、矢野各委員と平山葉子さん (十四) が出席した。種々討議されたうち、皆さんに報告し、ご協力を得たい要項はつぎのようなものである。

#### 「会計が決まったこと」

専任の会計として神藤敏子委員 (十二) が当たることになりました。またその他の委員もそれぞれ担当が決まりましたが、二ページの役員名の下に入れてありますので、ここでは省きます。会費 (二百円) の納入は、手近な委員あてでけっこうです。

#### 「ピクニックをします」

ヴォーカライズのつどい (名古屋) として、ピクニックに出かけようと計画中です。大体旭丘の学力テスト後の日曜日 (六月十二日か十九日) を予定していますので、ぜひ皆さんご参加下さい。詳細は追ってご案内いたします。

#### 「招待席Cを継続します」

好評を得ていた「招待席C」は、ことしも継続することになりました。ただし、原則として音楽友の会の例会を取り上げプログラムが弱いときだけ、他に機会を求めるときを申し合わせ、各委員が順次おつきあいすることにしました。五月は代替プロとしてダークダックス、六月はイムペリアル・ファイルハーモニーを取り上げます。

なお先月号でお約束してポストン交響楽団演奏会へのご招待は、役員選挙投票者の中から抽選の結果、千本木宣子さん (十) と決まりました。

### お願い

本年度分会費 (二百円) を委員あてお納め下さい。すでに納入された方へは受領書をお送りしましたが、納入済みなのに受領書が届かない方はご連絡下さい。

CHORUS



4月中、下旬分  
一順不同一

永井 充(八)

健康をとりもどし、毎日が楽しくなりました。帰阪して二十日、少しづつ体力が回復するにつれ、運動も軽くそれに応じて行なうとき、きょうやつとボールを持ってキャッチボールをしました。調子の見通しはよさそうですね。四月十八日(月)

増田 容子(六)

世の中のもの、すべてバラ色！  
気をまわすことなけれ。オニに笑われるような話。来年の一月蔵王へ行くのが最大の楽しみです。  
いつも優しい、きれいな、おとなしい曲ばかりひいているので、今度の音楽会にはポロネーズ(シヨパン)を選びましたのはいんですが、手と腕と肩のシンドいこと。目下フォルテをらくに出す方法練習中です。

渡辺 義彦(十一)

昨年が続いて凶らずも今年もまた宝塚で花の季節を迎えました。  
山はだにおける天然の色の配置、その融然としてうす緑、くれない、濃緑、桜などが一つのものとけ合って、むせ返るような春のかおりを発散させている様に再び感服いたしました。今年(自分にとつて)一つの発見をしました。  
それは、桜といつても実にはいろいろの種類があるということです。純白のものからほとんど桃色に近いもので、また早く散ってほとんど葉ばかりになって他の花に混じってそのうすくれないの若芽が美しい調和をみせてくれるものから、葉の緑が濃くなつてもまだしつかり枝についているものまで。

僕は純白の花びらのほっそりしたのが好きです。みずみずしい若葉とその清楚な感じの花、その上にひろがる空の青：みごとなものです。桜と入れかわって山吹も咲き始めました。これは押花にするとうまくゆきます。

鈴木 茂(十二)

熟睡していた。東山三十六峰、草木も眠る丑三つ時。突然……ゴォーン、ゴォーンと鐘の響き。その音に目がさえて眠られない。……しばらくしてまたゴォー

ン、ゴォーンと鐘が鳴った。十二個鐘が鳴ると消えた。

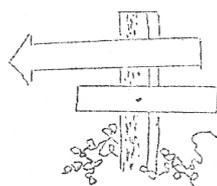
全く京都の夜は変な夜だ。しかし、朝はすばらしい。小川の流れに目がさめると、比叡山、大文字山、吉田山が暖かく市民を包んでくれる。忙しい現代人は、それらの山々に落ち着きを見出すのか、京都人は落ちついていて。街も落ち着いている。

松沢 暢夫(六)

異動：なし  
近況：不変  
その他：また次の機会に

中尾 桂二(七)

近況  
起床八時・出勤九時・退社二十二時  
……ウィークデイ  
起床八時・出勤十時・退社八時  
……日曜日



桜山 崇子(七)

二十日のテレビも、二十一日のステ  
ージも、どうやら好評のうちに済んで  
ほっとしています。からだ中がズキズ  
キするくらいつかれました。

テレビでの私あまり美人だったそ  
うで、ある友だちのお母さん、「桜山さ  
ん、宝塚に入ればよかったのに」です  
って。

ついでにテレビで歌った曲は、デュ  
エットでホフマンの舟唄とラクメのデ  
ュエット、ソロでドビュッシーのグリ  
ーンでした。

あんなに眠いことはありませんでし  
たよ。私にとって、七時に家を出るな  
んで、たいへんな努力が必要です。

東堂紀美子(十一)

森永の人事課に一年おりましたが、  
昨年の秋より心が変わり、つらかったの  
ですが、勤めと受験勉強を両立させ、  
今春薬科大に入りました。

しかし、入りましたものの、化学な  
ど手をつけなかった私、化学用語の出  
てくるたびにヒヤヒヤして先が危ぶま  
れ、どうして大学に入ったのだろうと  
(親には言えないのですが) 毎日考  
えています。どうしても必要のある人  
以外は、このような道には進むべきで

ないということをして、入学そうそう悟りま  
した。

横橋 貞雄(十二)

大東京の真ん中で、何とかもみ消され  
ずに生き長らえています。上京の際はぜ  
ひご一報下さい。アバラヤなれど泊めて  
あげます。もちろん有料ですので、あし  
からずご了承下さい。

鈴木 道郎(十二)

・十七日から旭丘の浪人学級に通います。  
つまり、一浪というわけ。  
・アルバイトを始めました。小学五年の  
男の子と女の子の勉強をみるのです。つ  
まり、僕の生活態度にも変化が生じたと  
いうこと。

・アルバイトについて……手こずってい  
ます。経験をおもちの先輩ヨ、「コッ」を  
一言お願いします。

・ヴォーカライズ」誌号「会員の声・委  
員の答」を読んで：反省……あまり言い  
たいことを言いつぎた感じ。ゴメンナサ  
イ。

・最後に…… ごらんとおり、まづい  
字ですから(私が)「どうしても」という  
場合を除いてはお手紙を書かないことに  
しました。

オトモダチヨ、アシカラズ。

森本 進(十)

○学校は山の上にありますので、岡崎の  
町がよく見えます。ガスタンク、鉄筋コ  
ンクリートづくりのお城、はるか西の方  
にキシヤポッポ、すぐ下には名鉄デンシ  
ヤ、町の中にはチンチンデンシヤ、他に  
はサクラの木があります。

○町の中どこを歩いても会う学生は学大  
のヤツばかり。他の学校の学生サンに会  
いたいとはじめて思いましたね。

○ところで守山は水がなくなっちゃつ  
た。自衛隊の車が浄水場から一日に数回  
水を持ってきます。近所のオバチャマ連  
の話では、自衛隊はやっぱりあった方が  
いいそうです。自衛隊バンザイ。ボクの  
家の井戸の水は、日ごろの心がけがよい  
のでチャンとでます。井戸バンザイ？  
イカレポンチの話

毛利 豊(五)

目下、粉売りに多忙をきわめ、間近い  
第二のスタート準備の計画等もゆっくり  
考えられず、困っています。



野村 圭子(13)

村田 陽子(七)

ついこの間、かわいい子たちを大ぜい学校へ送り出したばかりなのに、今度はまた新しいかわいい子たちがたくさん入ってきて、今やテンテコマイの忙しさです。

卒園した子は毎日遊びに来てくれますし、あの子もこの子もと遊んでいると、ほんとうに疲れてしまいます。それに新学期で雑事が多く、日曜日には映画をみに出かける勇氣もありません。でもやっぱり子供たちはかわいいものです。

先日、エッチャン、福岡さん、佐々さんと楽しいピクニックをしました。相変らずよく笑い、よく食べ、よくしゃべり、ゆかいな一日でした。

暖かくなって、だんだん陽のさして  
加藤幽香子(五)

いる時間が長くなってきているのに、どうして一日の終るのがこんなに早いのでしょうか。朝起きて、その日のスケジュールを立ててはみるものの思うように事が運ばなくて、ついあしたと延びてしまつて、ほんとうに困っています。どなたか、ロボットのすばらしく性能のいいの發明して下さらないかしら。

水野 令子(八)

相変らずの忙しさで目が回りそうです。今一番ほしいのは自分の時間です。

先日お友だちの結婚式で招かれて神戸まで行きました。その折芦屋の別荘地を歩き、小高い山に登ってみますと、神戸の近海が一望の下にながめることができ、水平線上に大きな船が点々と浮かんでいて全く絵のよう。しばしゆつくりとして、つくづくと自分一人を思いました。

足立 孝子(六)

ここ数日、かぜの諸症状に悩まされ、思うように休養もとれませず、少々無理をしながら勤務しております。皆様によく「オテノモノ」ではないかといわれませんが、注射も薬もきらいですからあまり使用しません。こんなことでは患者さんに良い保健指導はできないと思つている

のですが。まだまだ未熟ですので、皆様の指導をいただき成長していきたいと心がけています。

藤野 絢子(十三)

とうとう三年になってしまいました。今年は何もかも忘れて一年をすごすつもりです。えらい利己主義になってしまいますが、私という人間は、一つのことに集中することができませんので、そうするより手がありません。卒業したらまた気が……もう書くことやめ！忙しいけど、つまらん……。

谷 美保子(十四)

ヴァイオリンを習っているのですが、いっこうに上達しません。練習不足らしいのですが、一人前にあごにタコができて痛くてたまりません。

渡辺義彦君は私の兄の友だちですが、大阪へ立つ前日、家で入学祝いをしました。阪大へ入れてほんとうによかったと思います。

世古伊都子(六)

毎日毎日家と会社を往復しているのみです。一カ月ほど前に楽器を買って、

帰宅後おそくまでブルーブルーひいています。未来の音楽家？を夢みつつ、毎日を通してのありさまです。

加藤千鶴子(十二)

鯉のぼりが景気よく空に泳ぎ、庭のさつき、つつじが見ごろのきょうこのごろですが、朝寝坊で、その上夜おそくしか帰宅できない私です。花を觀賞する暇もございません。そのくらい忙しい毎日です。

ありすぎてお困りの節には、野村の投資信託をどうぞ。安全で有利！ 広小路にある名古屋支店にいますので、あちらへおいでの折にはお立ち寄り下さいませ。

水野 公子(十三)

勉強時間二時間をどのように有効に使おうかと研究中です(ピアノ練習のため)

志水 照代(十三)

ついに、いやでも三年になった。就職コースに入ったらがぜんのんきになり、食っちゃ寝、食っちゃ寝。何だか今までヴォーカライズの会員でありながら、その内容を全然といっ

ていいほど知らず、委員の方にたいへん申しわけなかったと反省しています。私のできることでしたらできるだけ協力させていただく覚悟です。

浅井 幸三(五)

・役員選挙っておもしろいものですね。大好きです。ただし、みんながぼくに入れるのでは、全然おもしろくなくなりません。今度こそ重責をのがれて、たまにはこっちも「もの申す」方になりたいと念願しています。

・依然忙しい。ほんとうは、ぼくは何もしないでボンヤリしているのが一番好きなのに、ここ二年ほど、一日としてそういう日にありつけません。たいへんさびしいことだと思ひ、自分が大事なものを取り逃がしたような気持ちすら起こってくるのです。

千本木宣子(十)

今回、四月一日付けで愛知学芸大学付属幼稚園に奉職させていただくことになりました。入園式が四月五日でしたので、まだ慣れるところまではいかず、毎日「へま」ばかりやっております。十一時に子供は帰宅しますが、なかなか幼稚園というところは想像したよりも疲れるところ

です。

小出 幸子(十二)

私、残念ながら浪人となってしまいました。今は、来年をめざして勉強にかかりました。これからは、勉強はもちろんですが、結局は体力がなければだめです。うんと太ってからだをきたえるつもりです。背も高くなりたいたいですが(ちよっとおそいかしら)その意味でも思ひ、太田の家で勉強することにしました。そして、気分をかえる意味で、ピアノの先生にも来ていただくようお願いし、中学以来三年目にレッスンを受けることにしました。少しずつでも続けるつもりです。

女 難

ベートルヴェンがカレンダーに書き込んだメモ

- 一八一九年
- 一月三十一日 家政婦解雇
- 二月十五日 料理女雇入
- 三月 八日 料理女二週間の期限付きで暇ごい
- 三月二十二日 新家政婦来る
- .....
- 一八二〇年
- 四月一七日 料理女帰る
- 五月一六日 料理女解雇
- 五月一九日 料理女去る
- 五月三〇日 女中来る

音楽こぼれ話

きかせる ひとりごと  
みんなに



浅井幸三

ことしもまた、会長として、そして月々お送りするこの「Vocalize」の編集者として、皆さんにご迷惑をおかけするでしょうが、何分ともよろしくご協力下さい。いつもの欄 (Invention) から、はみ出して、あつかましく書き気になったのは、いろいろご意見や励ましをいただいたからで、どうか気楽にお読み下さい。

ことしからは、会員も六十人近くになり、東京、大阪両支部とも九人ずつの会員を擁する大組織?となりました。それなのに、いつも景気の悪いことばかり書き、弱気になっているとは……と、渡辺君や船木さんから励ましをいただきました。まったくお恥ずかしいのですが、これはどうも私の性格らしく、ついついグチをこぼすものとみえます。もつとも、いいことづくめなら、私だって陽気なオハナシばかり書いているつもりですが……。

いうと、役員選挙の投票はせめて八〇パーセントあってほしい、と先月書いたのに、五六パーセントしかなかったということ。だから、「たった二票で当選か」と委員になった人がこぼしていました。

十四期も会員に入るようになったとは、私たちがもたそがれてきた……と、やはり船木さんがいっていました。そうはいっても船木さん自身は七期なんです。まだいい方です。そういうことになる、私などはもう夜に入った組で、こんなのがいつまでも会長をやっているんじゃ、先が思いやられませんか。

コーラス通信欄でたくさんお寄せ願うと、中には私あての私的なたよりなのかあるいは「コーラス欄」に載せてもいいのか判断しかねるものもあります。だから、「あれは私信のつもりだったのに、コーラスへ載せてしまって……」。もうこれからは手紙を出さないでおこう」と怒った人も、中にはあるかもしれない。もしそういう方があればおわびします。そして、とかく返事を出ししぶって申しわけないのですけれども、どんどんお手紙をお寄せ下さい。

アンケートの表書きを「浅井幸三行」ではなく「浅井幸三様」としたらどうだ、と鈴木道君が提案されました。一々書き改める手間があるという理由です。実は、昨冬のアンケートでは「浅井幸三様」と刷ったのです。そうしたら、あつかましい、と(多分冗談だとは思いますが)異議を唱える人がありました。忠ならんと欲すれば孝ならず?……、どうもヨワつことになりました。参考までに申し上げますと、今回のアンケートで、「様」と書き直して送って下さった方は約三分の一でした。

入会を誘った後藤君から、AKCのクラシック音楽活動についての異なった立場から、断わりの手紙がありました。ヴォーカライズは、クラシックだからとか、ポピュラーだからとかいうように、音楽を中心に生まれたものではありません。招待席Cにもポピュラーは扱わないという決まりはないのです。音楽は、ただ手段としてあるだけで、目的はみんなのつながりなのです。

熱心に読んで下さるというお母さん方に、そうしたかけの励ましでいつも力づけられる私は、ここで深くお礼申し上げます。

## 招待席 C

## 東京フィル演奏会

(四月二十一日・市公会堂)  
全般にさえず

四月の招待席Cは、アルベルト・レオーネの率いる東京フィルハーモニー交響楽団を取り上げ、新入会の在校生二名を招いた。

レオーネが名古屋を訪れるのは初めてであり、稲吉亜美のヴァイオリンでラロの「スペイン交響曲」、シベリウスの二番、それにオペラの前奏曲と間奏曲といったプログラムだったが、入りはあまり芳しくなかった。いくらオーケストラでも、名古屋ではこの組み合わせでは客は集まらないとみえる。

なお、「招待席C」は原則として本年も継続(友の会例会会中心で)することになったので、月に二人ずつ順次ご招待する予定である。新入会員が一段落したら、また違った顔ぶれの二人を招くことにしたい。この「招待席C」に参加されたときは、掲載するしないにかかわらず、今後は義務として感想を課すので、どうかご了承のうえ協力されたい。

4月 招待者 池谷 芳子(十四)  
〃 〃 平山 葉子(十四)

## プロフィール

楽じゃない「天使」役

足立 孝子 さん  
(六期)

若い日の女の人の人にとっては、看護婦という職業は夢に近いものであり、一つのあこがれでもある。しかし、その夢を持ち続け、実現させる人の数がごくまれであるのもだれもが知るところだろう。いい職業を選んだね、女のらしいよ…と旧友にいわれる足立さんは、その意味でも純粹さを押し通した人といえる。

いつも控えめで、決して人に抜きんでるといふ激しさの人ではないが、静かにものを見つめる態度、落ちついたふるまい、非常に礼儀正しい点などは、いかにも、傷つき病める人を励ますにふさわしい人柄である。それでいて、筋を通すところは通すシンの強さもあって、高校時代はもっと強かったはずなのに、いま見るとおとなしそうだ、などと口の悪い連中にひやかされたりもした。

仕事が忙しいせいもあって、家でくつろぐときなどは、主として和服を着ているという足立さん。それがまたよく似合う。和風の趣味なのであろう。家庭的な和やかさを感じさせるあたり、奥様としての適格性は十分(ただし、いまだ独身

なり…念のため)

AKC時代にあまり騒がなかったのと、高校を出てからのち、しばらく岐阜にいて学んだり勤めたりしていた関係上、とくに後輩の人たちには知られなかつたが、合唱が好きで音楽を愛する点では、みんなにひけをとらない。そして、「書」は人一倍達者で、あざやかな字をいつもみせてもらえる(実は、私が足立さんの名を知ったのも、その書のうまさにかれたからだ)。ただしむかしむかしのこと…) 勤務の都合でなかなかみんなと会うときもない。あるときなど、夜勤帰りで疲れ果て、バスの中で眠りを押えかねている足立さんを見た。「天使」も楽じゃない。

シックス・シリーズ (23)

足立 孝子さん

(写真はこの欄へはって下さい)

撮影者 永井 充(八)

撮影メモ 昭和35年1月1日午後

足立孝子さん宅でうつす

プロフィール

オペレッタのヒーロー

横橋 貞雄 君  
(十二期)

感激と拍手の中に、オペレッタ「影をなくした男」の幕がおりました。舞台裏、興奮の中にも楽しそうな笑い声、この日のヒーローよこほしさだおさんです。

彼が音楽室に現われたのは、三十二年九月、文化祭を前にした猛練習の最中。楽譜にしがみついていた。翌年一月、オペレッタの上演決定とともに主人公ペーターに推され、参考にとオペラ「マルタ」を鑑賞するなど、彼の周囲のあらゆるもの、あらゆる機会をとらえて研究するあたり、初めてとはいえず、意欲的な彼でした。このオペレッタ主演が転機となって、彼は合唱団員としてだけでなく、独唱者としても、本格的にその方面の開拓を始めたのでした。持ち前の美声と歌に対する意欲、それに恵まれた環境が手伝って、彼の腕前もグンとあがり（少なくとも入部当時よりは）三十三年度の文化祭までには彼自身の分野も確立しました。イタリヤのリリックな調べ、特に失恋の歌を得意とします。

ヴォーカリストである彼は、スポーツマンでもあります。排球、庭球、卓球、おきゆう、剣道もします。夜中に竹刀を振りまわすのだそうです。今彼は、おにけんじをめざして勉強中です。彼の口調には人を制するものがあるとかないとか彼の論法は正統派です。ごらんのとおりの好男子です。しゃれ気があります。ジヨークがうまい。飲めません。なかなかいけません。「お好み焼き」なるのれんを「オスキミヤキ」とやったこともあります。引退した後、歌うことでの現役の指導や、カルテットの育成をしたのも彼でした。先日録音をきいて、彼に感激した現役も大ぜいいたとか。あの日のヒーローは今もなおそのヒーローぶりを發揮しています。十六年四月五日名古屋生まれ、小野田中学出身。(R)

シックス・シリーズ (24)

横橋 貞雄 君

(写真はこの欄へはって下さい)  
撮影者 森本 進 (十)  
撮影メモ 昭和35年3月27日、  
旭丘高校音楽室でうつす

Invention

○：「合唱団めぐり」「続ほたる草」は休載しました。しかし「コーラス」だけで四ページを埋められたのは、とてもうれしいことです。会員名簿は、利用していただくのに便利なように、別刷りにして見たので、ご活用下さい。

○：ヴォーカライズの創立五周年記念に、何か盛大に行事をやりたいものです。たとえば、会員一人が一つずつ原稿を出しあつて記念出版をするとか、音楽を専攻する若林、水野俊、桜山、金谷といった諸兄弟を中心に交歓演奏会を開くとか……。えっ、あんまり調子のいいことをいうな、ですって？でも、このくらの夢を見なくちゃね、年の初めですから(ヴォーカライズの)……まじめに考えて、みなさんのご意見をお聞かせ下さい。

○：次号からは、村田陽子さんに編集に参画していただくことになりました。少々行き詰まってきた私の企画に、きつと新しいチエを働かせてくれることでしょう。そしてAKC、東京、大阪の各支部からは、うんとニュースが入ってくるでしょう。……どうも、ここでも景気がいいけど、大丈夫かな……と心配している人がいそうですね。どうでしょう。

1960. 6. 1 (水)

# VOCALIZE

No. 45

AKCヴォーカライズ機関紙 編集 浅井幸三

## 網揚げ

R・M・リルケ

えんさかほいやとひき上げろ、  
ぴちりぴちりと何が来る。  
海の底から、腕へ来る。  
青い電気がじんと来る。

えんさかほいやとひき上げろ、  
朝の光が網の目に、  
潮のしぶきが横つらに、  
炭酸水の泡のよに。

えんさかほいやとひき上げろ、  
起きからうねりがどんと来る。  
何か力が胸へ来る。  
ぐいと綱づな張つて来る。

えんさかほいやとひき上げろ、  
ぴちりぴちりと近くなる。  
何か光がみえてくる。  
魚の重みが肩へくる。

…「日本童謡集」より

## 6月の演奏会

名古屋 ◇CM◆PM■ステージ

◇エール三重奏団リサイタル ∞日夜 文化講堂

◆白木秀雄ショウ 12日夜 文化講堂

◆伊藤素道とリリオ・リズム・エアーズ

20日夜 文化講堂

◇大阪フィルハーモニー交響楽団演奏会

18日夜 19日昼夕 市公会堂

◇イムペリアル・フィルハーモニー交響楽団

演奏会 20,21日夜 市公会堂

◇古典音楽協会・バロック音楽の夕べ

21日夜 文化講堂

◆東京キューバンボーイズ

22,23日夜 市公会堂

◇山根弥生子ピアノ演奏会

26日夜 CBCホール

### <7月演奏会>

・レニングラード・バレエ団公演

・松浦豊明ピアノリサイタル

・ヴォーカル・ファンタジー

・渡辺弘とスターダスターズ

・辻久子ファンタジーコンサート

### Vocalize <45号>

◇合唱団めぐり CBC合唱団……………2

◇ニュース欄、コーラス……………4

◇ポストン交響楽団をきいて

(千本木宣子)……………5

◇「古いメシでは腹がへる」(鈴木茂) 6

◇プロフィール福岡二三子さん(七)……………7

◇プロフィール谷 美保子さん(十四)……………8



得意はポピュラーもの

「東京公演で実績を…」と意気こむ

— C B C 合唱団の巻 —

民放界で二位になった「うぐいす姫」

放送合唱団も数多いが、定期演奏会（ステージ）をもっているのはきわめてわずかで、民放ではこのC B C合唱団ぐらいであろう。昨年暮れの第五定期演奏会では、踊りまで加えての「ヒット・ナンバー・ショー」が話題をさらひ、東西からかけつける人もあったというほど。

創立七年目を迎えたC B C合唱団は、ことしの民放祭音楽部門に、合唱のためのオペラ「うぐいす姫」（作曲菅野浩和・指揮木下保）で第二位を獲得、いまや民放界きっての合唱団でもある。

### プロ合唱団C B Cの構成

このC B C合唱団は、名古屋に存在する二つのプロ合唱団のうちの一つだが、C Kの合唱団が本数契約に変わってしまったいまでは、完全な専属合唱

団として残った一つのものになってしまった。だから、プロ合唱団としての制約やきびしさでは、C Kの場合と同じでも、日常の事情はまったく異なっている。

契約は一年ごとに改更される。そのたびにC Kと同じくテストが課されるのはやむを得ないとしても、一年契約というのでは、将来に何の保障もない。その点に不満を持つ人たちが今春もだいが退団したため、現在の団員二十九名は、ソプラノ十一、アルト八、テノール四、バス六とバランスがくずれてきた。（昨年は十、六、七、七の割合だった）この団員構成が目下の最大の悩みらしい。「放送ではマイクの使い方でも何とかなるとしても……」いざステージとなると、これではバランスがとれないと団員は残念がっている。

もちろん大学出の団員が多い。目立つのは武蔵野の五人、国立が三人、それに山形大出が四人もいる。これは指揮者の関係（藤井典明氏が山形大音楽科の助教

授をしている）もあるのだろう。

指揮者は木下保氏のほか藤井典明、前田幸四郎氏が主だが、菅野浩和（自身の作曲したものが多い）地元の岩佐伝、水谷昇平氏らも振っている。

### プロ合唱団C B Cの構成

定時の放送は毎週木曜日の「虹のコーラス」（前8:45）、十五分番組）とC B Cポップ会との交代で放送する「C B Cコーラス」（毎日午後5:15）、十分番組）、そのほか「音楽サロン」（火曜日後3:30）、三十分番組）を受け持つこともときどきある。

しかし、この合唱団としての意欲は、主として「虹のコーラス」に向けられているように、練習時間の多くはそのために使われる。取り上げる曲にはそう違った傾向はないとしても、「C B Cコーラス」より「虹のコーラス」の方が芸術性が高いのではないかとということだ。

練習は一週間、つまり下見の練習が二、三日、指揮者がきてから二日という割合になる。一日六時間の練習は決してまれではないというからきついわけである。よくやれるものだと感心したら、「機械と違う。それに多いからいいとはいえない」

という返事。ごもつともである。サラリーマンでもあるこの合唱団の規定時間は百十時間、これ以上にならないと残業手当？はもらえない。そして、一日中束縛されているから、なかなかほかの仕事はできないという。やれないのは疲れるからで、もちろんやっつけていけないわけではないだろう。

演奏曲目はプロデューサー、指揮者あるいは芸能部長の間ですべて決められる。団員の方から希望を出すようなことはないのか、と聞くと、「われわれは機械だから……」という答えと「実績をあげてからでない」と「慎重さと、二通りの返事があった。

今多いのは、宗教曲と現代音楽、ポピュラーもの。「いろんなことを覚えさせて、ほかの合唱団にまねのできないようなものを探っているという段階で、これが得意といった色彩はまだできていないのではないか」という意見だが、「軽いものの方がうまい」のも確かなようだ。

目標は東京公演だが……

ところで、実績をあげることとは何を意味しているかというところ、まず東京公演

をすることだそう。将来、できれば東京で公演したい」というごく控え目な表現だったが、昨年はいまより実現性があったという。とにかくいまのままではパランスがとれないから、というのが一歩後退した理由。「去年までは自信を持って行けたけれども……」と残念そう。

東京公演について、こう説明してくれた。「名古屋というところは刺激が少なく競争がないから、自分たちで切りひらいていかなないと新しいものに取りつけない。だから東京へ出てレッスンを受けたら、グループ演奏したりして、コーラスの役に立たせている。けれども、たとえ実力的には変わらなくても、名前がないから労音や何かでも使ってくれない。土地柄もあるだろうが」実力だけではだめということだ。

### CBC合唱団あれこれ

CBC合唱団は平均年齢が若くて、すごく陽気でおもしろいということだ。休憩時間にはダンスをやりますよ……と団員は教えてくれた。

目下の自慢は、初めに書いた民放第二位の実績。何しろ「東混出演の番組が私たちより下だったのだから」と気をよく

している。

一年契約ということで、団員の交代も激しいが、男の方が新陳代謝が大きいという。それは「将来の見通しがないから男の人には問題があるが、女の人には言い職場だ」からという。ここで職場と芸術でやりとりがあったが、「職業に徹するという考え方でやればよい」ということでケリ。

ある人は「学校へきているつもりです。学校の四年間よりも、ここにいる方が勉強になる」と割り切っている。

指揮者が大事だということではCKと同意見。「指揮者の態度というのがコーラスには大切だ。木下先生の指揮は、うまいとは思わなくても魅力がある。大きなからだ……声が出ないようなところでも出されてしまう」のだそう。名古屋労音は地元演奏家を取り上げようと企画している。その第一候補に上がっているのが名響とCBC合唱団だ。ぜひ実現させたいものである。

……編集あとがき……

この記事は、CBC合唱団の小栗久和さん、松原千枝子さんに伺った話を中心に、編集部浅井幸三が書いたものです。お二人との会見は大へん楽しく有益なものでした。お礼申し上げます。



この欄はA K C関係者みんなの近況を知らせ合うためのものです。だれのことでも、どんなことでも、ぜひお知らせ下さい。

◇：前会員の高橋洋子さん(十二)は、今年度から会員として復帰された。

名古屋市昭和区本宮町×××

(通学先) 名古屋大学

これで会員は六十人になった。

◇：桜山崇子さん(七)は、六月二日

左記へ転居された。

東京都杉並区大宮前×××

◇：船木弥子さん(七) 五月一日に

長男御誕生。

◇：福沢寿満子さん(七)は、五月十五日

結婚された。

◇：足立孝子さん(六)は、五月二十

六日虫垂炎の手術をされ、三重県のお

姉さん宅で静養、六月六日よりふたたび

勤めに出られた。

◇：谷美保子さん、二井真智子さん、

山崎満寿枝さん(いずれも十四期・旭

丘二年)の三人は、この夏転居される

ことに決まった。二井さん、山崎さん

は東京へ移られるもの。A K Cでは当

然三人の送別会を開くが、ヴォーカラ

イズとしては、単独で送別会をするか

A K C側と共催にするか検討することになっていいる。予定では、七月中旬までにヴォーカライズの送別会を開く。

◇：前月配布した会員名簿のうち、つぎの訂正、追加がありますのでお知らせします。

・ 桜山崇子(七) 住所訂正

・ 石井よし子(九) 住所に電話番号を

追加

電話 ×××

・ 高橋洋子(十二) 上記のとおり追加

・ 二井真智子(十四) 住所訂正

名古屋市千種区清住町×××

◇：水野俊彦君(六)は、六月三日朝八

時三十分からのNHK第二「私たちの音

楽」で放送された。ピアノ伴奏は弘田靖

子さん、曲目(十五分)はつぎのとおり。

トステイ「理想」、ナポリ民謡「舟唄」、

ビクシオ「お母さん」、チョッファイ

「五月の夕べ」、ナポリ民謡「だれが忘

れてよいものか」

◇：永井充君(八期・読売テレビ)は、

来年四月に勤めをやめて帰名、家業(永

井抱陽写真館)を継がれる予定だとい

◇：浅井幸三君(五)は、名古屋労音幹

事に再選。

# CHORUS



鈴木 道郎(十二)

・そろそろ浪人生活にあきがきかかってきます。神様、この不貞な浪人をお許し下さい。

・水野さんの歌、ききました。全く偶然でした。あの時間はいつもドラマ(オテンキの方)を聞いているのです。ひよいとダイヤルを回したら突然歌が飛び出してきました。新聞を見たらやっぱりそうでした。

・うちの「国民受信機」なるラジオでも大へんきれいに聞こえました。リサイタルのときよりも声にふくらみがあったように思います。僕には、その方がよいように思えます。

・五周年記念事業挙行大賛成。記念出版大いによろしい。記念公演、記念パーティーこれまたよろしい。やりましょう、みんな。

## お願い

本年度分会費(二百円)未納の方は委員あてお納め下さい。納入された方へは受領書をお送りしますが、納入済みなのに受領書が着かない方はお知らせ下さい。

## 第一回ヴォーカライズのとどい

## 少なかった卒業生側の参加

本年度第一回の「ヴォーカライズのとどい」は、六月十二日、名古屋東山植物園へのピクニックで開いた。

心配された台風もそれと、暑い日さしの好天。雨が降るだろうと予測していた人も多く、事前の準備にも手ぬかりがあったようだ。参加したのは、会員、在校生、その他合わせて十八人。例によって卒業生側の参加が少なく、まったくがっかりしたくなる「とどい」だった。

【参加者】 Ⅱ卒業生Ⅱ 浅井(五) 森本(十) 伊藤(十一) 鈴木道、高橋(十二)

<招待席C>  
ボストン交響楽団演奏会

「招待席C」臨時企画、ボストン交響楽団演奏会には、役員選挙投票者のうちから抽選で千本木宣子さん(十)をお招きした。「会員の皆さんに悪いみたい」といつていた千本木さんは、ボストン交響楽団をきいての感想を、つぎのように書いてくれた。(五月十八日・名古屋市公会堂での公演)

Ⅱ在校生Ⅱ 安田、川村、志水(十三) 平山、矢野、佐藤、丹下、宮部(十四) 白木、大里、安藤、新海、福田(十五)

最近、一部地域で郵便の遅配が目立っており、この「ヴォーカライズのとどい」案内が、期日よりあとになって着いたところも少なくなかったようです。そのため、せつかく参加されるつもりの方にも、おいで願うことのできなかったのは残念でした。今後はこうした事故があっても間に合うよう、連絡を早めにしたいたいと思いますので、今回の種々の行き違いについてのご了承をお願いします。

第五は、全くすばらしかった。日本のオーケストラのように、ppの部分になると音を弱くすることのみに終始するとう所はなく、実のびのびと楽しそうに演奏で、特にソロの部分では、各自が自信たつぷりに、自己の持つ力を十分に発揮しており、また、すべての楽器の鳴るときには、すっきりとけ込んだ美しいハーモニーをかかせてくれ、少しもあぶげのない演奏でした。

## 嘘から出た真実

フェリックス・ツイームという画家はショパンの友人で、あるとき他の友人たちと一緒に彼を晩餐によんだ。いつも時間の不正確なショパンは、その日も一時間が食事終わったころによくやってきました。その上たいへん憂鬱なようでした。陽気な一同の気分がふさわしくなかった。そこで友人たちはショパンをからかっってお化け遊びをやり出した。ツイームが骨格研究のために持っていた骸骨をひっぱり出し、灯火を消し、ピアノを不気味な音を立てて打ちたたいた。すると急にショパンがピアノにかけよってひき出した。その即興曲の不気味さに一同は息づまるような恐怖にとらわれ、からかうつもりもなくなり、すっかり感動させられた。これがのちに変調ソナタの葬送行進曲として発表された曲である。

## 音楽こぼれ話

ブラックウツドの交響曲は初めてきいたのですが、四本のトランペットが同時に吹き鳴らすあたりは、月夜に密林の中の広場に群がって鳴く象の声に似て(実際に象の声を聞いたことはありませんが)いささか気が変になりそうでした。演奏者の数と、その体格のすばらしいのに圧倒されてしまったのも事実でした。

(千本木 宣子)

## 古いメシでは

## 腹がへる

鈴木 茂

腹がへつたら何か食えと言う人がいるが、京都のメシはまずいわい。こんなにまずいメシでも東京、大阪並みかそれ以上の値段であるから全く腹にきまずね。体重を計るたびにやせていくではありませんか。東京、名古屋で一〇〇円程度の寿司が、京都では一五〇円でも食べれないのです。かくなる上は食い物の街大阪へ鋭気を養いに行こう。

市電が市民交通の中樞をなしているところは田舎ですよ。大工場設置の企画もせず、ただ数世紀前の文化財をかかえて、文化都市だと自誇している街はやがてほろびますよ。いかに文化財保存と力み、努力してみたとして、その保存能力には限界があります。

早い話が、舞妓さんを考えてみて下さい。彼女たちを珍重し、ワンダフルと叫び喜んでるのは観光客だけです。その中でも外人観光客というごく限られた人々だけ。たれが外人観光客の見せものとなり生きがいを感じる人がい

ましようか。したがって舞妓さんの数が急減している。これみな当然の成り行きです。また、幹線道路を一本建設せんと計画すれば、必ず神社仏閣に突き当たり、それらの文化遺跡をこわすのをおそれ、その計画を実施しない。だからいつまでもたつても京都は画期的事業がなされず、街中は沈黙して眠っている。

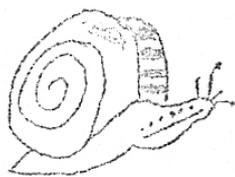
こんな元氣のない街の中にとじこもっている、時代から置いていかれはしないかと心配になる。そうだ、大阪へ行こう。腹一杯うまいメシを食べに行こう。京都は静かだええとこや、という感覚を再確認するためにも、あわただしい大阪へ行こう。そこで忙しく動き回るのだから、きつと僕を満たす事柄が待っているに違いない。

多忙は、成長、発展を生み出す。現代人が忙しいことは幸福なことである。受験勉強に忙しいとき、幸福への生きがいだ。生活に緊張感がある。仕事に忙しいとき、社会にどんなに貢献しているか。人はすべて忙しくなければならぬ。そうでなければ傾きかけた老人だ。今まで三日かかった仕事を一日でやり遂げる。その調子で進めば、人、七〇歳まで生きると、二一〇歳まで生活したことになる。それほど忙しいなら、適度からだを

休めねばならない。それでは休日をやそうと、ある人はいう。これまたすばらしいではないか。

多忙であれ。うんと忙しくあれ。ぶつ倒れるほど忙しくあれ。それでも人は倒れないではないか。人はなまけたがるものだ。なまける能力は、大いなる嗜好欲と強い個性の意識だ。すべて人はそれらのすばらしい能力を身につけているではないか。だから、いくら忙しくてもいい、人はなまけているに決まっています。なまけていては、時代に追い抜かれる。時代に追い抜かれれば、くだらない前世紀の遺物だ。

「そうだ」遺物にたよって、なまけながらえている、京都を僕は離れねばならないのだ。そしてぶつ倒れるほど忙しい大阪へ行くのだ。今すぐ行くんだ。ものすごく忙しくメシを食うんだ。うまいものをたんと食べるんだ。そうすれば、減った体重はふえるはず。時代錯誤にならずにすむだろう。



## 招待席 C

ダークダックス

リサイタル

(五月二十四日・市公会堂)

五月の招待席Cは、友の会の例会(安川加寿子)をはずして、ソ連行きを控えて最後の公演を行なったダークダックスを取り上げた。

ひところの爆発的なコーラスブームにくらべると、最近はやや落ちつきをみせてきたとはいえ、ダークダックスはやはり人気がしら。この日は合唱組曲「山に祈る」を中心に、ソ連演奏旅行のレパトリーのいくつかを歌った。舞台構成は弱かったし、聴衆受けしたのが日本民謡と身振り、ことばのおもしろさで笑わせるものだけだったことは、このコーラスグループの一つの行き詰まりを思わせた。

ということ、音楽的にはおもしろみがない現われといえよう。いつまでたってもプロずれしない点は、長所であるかもしれないが、同時に伸び悩みをみせる原因でもありそうだ。もう一つたくましさとリズム感がほしい。

## 参会者

招待者 安田 良江(六)  
 〃 拝郷比呂子(七)  
 編集部 川村 朋子(十三)

## プロフィール

明るい「フクちゃん」

福岡二三子 さん

(七期)

福岡さん：といえば、すぐにあのにこにこした顔と朗らかな笑い声が聞こえてくるような気がする。

AKCに入部したのは二年生のとき。口うるさくておっかない五期生が卒業してからの一号室で育ったので、七期生のグループは天真らんまんに成長したらしい。ほかの七期生たちがそうであるように、福岡さんもまたよく食べ、よく笑い、よくしゃべる。

明るいふんい気を持った人である。すまし込んだ顔(写真のように)をしても、一言しゃべり始めると、とたんに笑顔になる。福々しい円満な表情には、金満家になる相も出ていくとか。

いつも親切で、気やすく何でも話し合うことができる人である。そして、人のためにも努力を惜しまない。三十二年度にヴォーカライズの委員を勤めたのも、船木さん(当時西川さん)の忙しさを見かねて交代したもので、委員会にはゆえなくして休まない人だった。

ことしの春、勤めをやめてからは、花嫁修業に専念というところ。：勤めてい

たころ、用を思い出して電話したりすると、いきなり「毎度ありがとうございませ」とおどかされもしたが、その心配はなくなった。：このごろではすっかりきれいになったが、七期生同士で集まると、花嫁修業より遊ぶ話に身がはいるようである。

すっかりした考えを持って事に当たり、努力する彼女のことだから、近い将来、きっと良い奥様になることだろう。明るい「フクちゃん」の奥様ぶりが、今から楽しみであり、また、心から祝福したい。(今からこんなことを書いて、なんてしかられそうだけれど、あくまでも将来のお話ですからネ)



プロフィール

近代的なお嬢さん

谷 美保子 さん  
(十四期)

谷美保子さんこの名前から、何となくヴァイオリニストを思い浮かべませんか。その通り、彼女は未来のヴァイオリニストです。彼女が真剣な表情で、まるで「白魚のような」と形容したいような、きゃしゃな指でヴァイオリンをひいている姿を、まあ、ご想像下さい。

彼女は九月生まれの末っ子。非常に朗らかでよく笑う。ときには「困ったな、どうしよう」なんて顔をしていることもあるが、いつまでもよくよくよしていない。また、おとなしそうに見えるのに、ときどき大胆に行動し、まじめくさった顔をして、ちよいちよいおちやめなはずらをする。そして勉強なんかは、ずいぶんがっちりやっている。こんな彼女は、一口で言えば「近代的なお嬢さん」であろう。顔立ちにしても、背の高さにしても、まさにこの言葉にぴったりである。  
「ちっとも高い音が出ないワ」などという彼女が、高い音を正確に歌っていく彼女は、純粋なソプラノが少な

いわが音楽部にとって、貴重な存在である。こんな彼女を、今失うことは（彼女はこの夏から九州へ行かれます）われわれにとつて、大きな痛手であり、悲しみである。

谷さんの観察記録 ?子

×月×日 M教官の授業時に居眠りす。  
現在時刻午前九時（昨夜の勉強疲れからか？）  
○月○日 M教官の授業時、「風と共に去りぬ」の本が、彼女の教科書の間からちらちらする。

日ごろまじめな彼女が、こんなことをするとネエ。。。

シックス・シリーズ (26)

谷 美保子さん

（写真はこの欄へはって下さい）  
撮影者 森本 進（十）  
撮影メモ 昭和35年5月28日夕  
浅井会長宅でうつす  
今回は四枚の写真が同封してあります。いずれも裏面にナンバーが書いてありますので、該当欄へはって下さい。

Invention

○：原稿待ちと（コレハないしよデスガ）はなほだしきやる気のなさから、よくもまあ、とあきれられるほど遅れてしまいました。たった八ページの小紙が、こんなにも難航するのはたまりません。次号は七月五日ごろ、そのつぎから一日発行に戻すよう努力したいと思います。

○：ピクニックがすんでから「はがき」をよこすとは何事か（名古屋地区以外の会員には出ませんでした）と、おしかりを受けました。そんなつもりはなかったのです。消印をごらん下さい。東区から千種区へ行くのに、一週間もかかってはどうしようもありません。

○：今月号に「コーラス」用はがきを同封するつもりでしたが、ピクニック案内に回してしまつたので中止します。会計が苦労するといけませんからネ。どうかお手元のはがきでどしどし近況をお知らせ下さい。

○：それはそうと、その会計の神藤さんに「がめつい会計になるな」といった人があるとか。あんまりいじめないでください。委員なんてやめた、と逃げ出されたら、お互いに困ることになりますからオネガイシマス。

1960. 8. 15 (月)

# VOCALIZE

No. 46

AKC ヴォーカライズ機関紙

編集 浅井幸三

## 薔薇

R・M・リルケ

どこにこのやうな内部をいれる

外部があるだらう

この清らかな布はどんな痕(きず)を

のせたらよいだらう

咲きこぼれた薔薇の葩(はな)の

内湖のみづには

一体どこの空が映つてゐるのだらう

はかない葩(はな)びらと葩(はな)びらをかさね

あどけなく

咲きみだれた薔薇は

人の手にそつとくづれるのも

知らぬげにみえる

もうわれとわが身が

ささへ切れぬのであらう

薔薇は一つ一つ

咲きこぼれ

うつくしく外にあふれて

ながい夏の日々が

もりあがりもりあがり

夢の中の穹窿(きゆうりゆう)のやうに

押しつぶさるなかへ

容赦なくながれ出ていた。

：「新詩集」より・大山定一訳

## 8月の演奏会

名古屋 ◇CM◆PM■ステージ

◇上井幸子ソプラノ独唱会

12日夜・文化講堂

◇安川加寿子ピアノ演奏会

4,5,16日夜・文化講堂

◆ミルス・ブラザーズ演奏会

20日夕夜・文化講堂

◆ジャズの誕生

21日昼夜・市公会堂

◆日本フィル・ムード・オーケストラ公演

22,23日夜・市公会堂

◆トップ・ハッツ、フォア・セインツ公演

26日夜・文化講堂

◆東京フィルハーモニー交響楽団演奏会

28日昼2・市公会堂

◇ハワイアン・フェスティバル

29日夜・市公会堂

### <9月演奏会>

- ・ 東海メール・クワイヤー
- ・ プロムジカ弦楽四重奏団
- ・ 東京混声合唱団
- ・ 有松洋子ヴァイオリン
- ・ 鈴木章治とリズムエース
- ・ 貝谷バレー団「くるみ割り人形」
- ・ ハリダ・アフチャモフ・ヴァイオリン

### Vocalize

<46号>

- ◇ニユース欄……………2
- ◇「ひとり旅」(原まき子)……………4
- ◇招待席C イムペリアル・フィル……………5
- ◇プロフィール山崎満寿枝さん(十四)……………2



この欄はA K C関係者みんなの近況を知らせ合うためのものです。だれのことでも、どんなことでも、ぜひお知らせ下さい。

谷、二井、山崎さん（十四） 転居

◇：くしくも時を同じくして転居されることになった谷美保子さん、二井真智子さん、山崎満寿枝さん（いずれも十四期・旭丘二年）の三人を送る会が、A K Cの主催で七月一日午後三時半から旭丘高校音楽室で開かれた。一年生から三年生までの部員の有志に、都築顧問、浅井ヴォーカライズ会長も加わって、参加者は五十人をこす大盛況。A K C主催のコンパとしては最高の動員数だろうと取りざたされるほどだった。室内遊戯に始まったこの会も、お茶とお菓子、そしてアイスクャンデーまで添えられる華やかさ？から、終りにみんながあいさつするころには、さすがにしんみりとした空気になり、送られる三嬢の声はかすれがちだった。なお、この日のあいさつの模様はテープに収められたが、そのできばえは：（一度きいてみてください）

◇：一方、A K Cヴォーカライズでは、三人の転出者の出発が予期以上に早かったため、全体としての送別会が開催できなくなり、思わぬ失態を演じた。ヴォーカライズ委員会では、七月九日夕、栄町「新平和園」で二井真智子さんの送別会（参加者四人）を、また七月十九日午後には浅井会長宅で谷美保子さんの送別会（参加者十三人）をそれぞれ行なった。

◇：転出者の先陣となった山崎満寿枝さんは、七月三日午後の「東海」で、続いて二井真智子さんが七月十一日の「第一こだま」で、それぞれ上京、また谷美保子さんは七月二十三日の「さくら」で福岡へとたれた。いずれもA K C関係者はじめ多数の見送り人があり、駅頭で別れを惜しんだ。

◇：三人の新しい住所はつぎのとおり。

・谷 美保子（十四）

福岡市昭代町×××

・二井真智子（十四）

東京都世田谷区松原町×××

・山崎満寿枝（十四）

東京都北区中十条×××

|| 転入高校はいずれも未定 ||

### 卒業生たちの動き

◇：増田容子さん（六）は、六月いっぱい出、勤め先の日本楽器梅田店を退職、七月からご家族の住む小倉（生まれ故郷）へ移られた。なお、この退職について、来年初め結婚される準備のためという説が強い。結婚後は池田市に戻られるそうだが、ともあれ一時的にも福岡地区に二人の会員がそろったわけである。

小倉市貴船町×××

◇：毛利豊君（五）は、七月十日より左記へ転居された。これで、この秋に迫った結婚の準備もできたわけ。

名古屋千種区虹ヶ丘団地×××

◇：安田良江さん（六）は、長らく勤めた県農地開発事務所をやめ、六月二十七日から日本チタン株式会社（電話×××）に勤められた。新たに名古屋へ事務所を設けるにあたり、とくに請われて入社したもの。

◇：桜山崇子さん（七）は、八月二十七日（土）午後六時二十五分からのNHK第二「私たちの演奏会」で放送することになった。曲はお得意のフランス歌曲で、シャルパンティエの「森の小川」とプーランクの「四つの歌」七月に録音されたもの。

◇：水野俊彦君（六）も、またラジオ放送することに決まった。放送日は九月十一日（月）午後六時、NHK第二で、この録音は九月二日に行なわれる予定。

◇：松沢暢夫君（六）は、このほど左記へ転居された。これは、同君が十月から川崎重工の明石工場勤務になるため。

神戸市長田区川西通×××

電話×××

◇：愛知県立女子大学合唱団は、七月三十日夕、愛知文化講堂で行なわれた「同志社グリークラブ演奏会」に賛助出演、ロッシーニの「三つの女声合唱曲」を演奏した。同合唱団の幹部、大橋佑子さん（十）は、そのうちの「めぐみ」でソロを受け持って好演、盛んな拍手を浴びた。

◇：原まき子さん（六）は、七月十六日に盲腸炎の手術をされた。暑さの折だけに、苦しい経過だったようである。

A K C のニュース

オペレッタ「影をなくした男」も

◇：A K C の夏期練習は、第一期を七月二十日から二十四日まで行なったが、第二期としては八月十四日から二十四日まで無休の練習にはいった。混声合

唱はNHK唱歌コンクールの課題曲を中心に、また男声、女声も発表会に備えての練習を行なう。

◇：さる三十三年三月に十一期、十二期生の手によって上演されたことのあるオペレッタ、堀内秀治作曲「影をなくした男」（三幕）が再演されることに決まった。上演は文化祭の期間中に行なわれる。おもな出演者は、ペーター・朝日裕晶、ペルシャ人・伊藤真知子、伯爵・高木眞祐、伯爵の娘・池谷芳子、老婆・矢野公子、伯爵家の客・大島修各君ら、主として十四期の人たち。演出は佐藤征夫、ピアノ伴奏を平山葉子が担当する。この練習はすでに開始されているが、初演？のさいのメンバーである十二期生がたいへん力の入れようで、指導にあたっている。（三十三年公演の記録は、「Vocalize」第21号=33年4月27日=に掲載してあるので、参照されたい）

誕生日おめでとう（8月）

- ・ 八月 一日 桜山 崇子（七） 24 歳
- ・ 同 十二日 神藤 敏子（十二） 19 歳
- ・ 同 十六日 泉谷美紗子（十二） 19 歳
- ・ 同 二十五日 志水 照代（十三） 18 歳

私の好きな詩①

リルケ「薔薇」

原 まき子

私の家の近くに、すばらしい薔薇園が二ヶ所あるのです。片方は私が親しくしていたお家です。以前は、時に触れて、新作の薔薇や数多くの薔薇の中で、その甘いかおりの幸福にひたつたものです。そのときに、ふっと思いついたのが、このリルケの「薔薇」なのです。とげはあっても美しい花なので、私も大好きです。きょうも机の上の一輪の薔薇のかおりを心ゆくまでかぎ、リルケの「薔薇」を読んでいます。

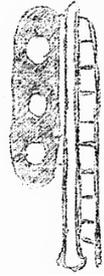
編集部から

この「私の好きな詩」は、長らく巻頭を飾って好評を得ていた童謡詩にかわって企画したものです。あなたのお好きな作品と、それにまつわる短文をお寄せ願いたいと思います。もちろん、自作の詩でしたらなおけっこうです。ご協力をお願いします。

お願い

本年度会費（二百円）をまだ納めていない方は、至急浅井会長か神藤会計へご納入くださいますよう、お願いします。

## ひとり旅



原 まき子

五月の中旬に東京へひとりで行くとき、ちょうど「つばめ」でたったので、名古屋へ着いたときはお昼過ぎでした。二、三分間の停車では、五年ぶりの名古屋も降りることができず、そのまま車中から見える範囲の名古屋の街をながめ、なつかしく思いました。駅の前風景も、立ち並ぶビル街で都会らしく感じられるようになり、私が中学、高校と六年間過ごした思い出が走馬灯のようにかけめぐりました。雨の中の東海道を、ある場所は遠足で行った浜松などと、ひとり思い出にふけり、東京までの道をひとり旅で楽しみました。東京で遊びたいだけ遊び楽しみ、それから幾日か後の「第二こだま」で、帰阪したのですが、途中、横浜からひとりの年老いた御夫人が私と同席でしたので、話し合いながら名古屋まで来ましたの。というより、その方は名古屋の八事に住まれるとのこと。なつかしさのあまりに話に花が咲いたので、私

が旭丘の出身だと申しましたら、その御夫人は「私の孫もぜひ旭丘に行かせたいので、いま一生懸命に勉強をさせていますの」とおっしゃっていられたのです。だれにも遠慮のいらぬひとり旅なのに、同席された方から旭丘の名が聞けるとは思ってもよらないことでした。名古屋駅でそのオバサマに別れて、またひとり、大阪まで行くより名古屋で降りたい気持ちを押えました。名古屋の街の美しく輝く夜のネオンをながめ、私の第二のふるさとを素通りして、さびしくもこのひとり旅を続けました。

今度のひとり旅でいちばんよかったことは、車中より名古屋の街が見られたこと、また、同席の方からいろいろと名古屋の話が聞けたこと。この二つが、私の旅に出て得た小さなよろこびだと思いません。ひとり旅ってさびしいけど、気楽な楽しい旅でした。

## 誕生日おめでとう (9月)

- ・ 九月十二日 安井 邦夫 (十一) 16歳
- ・ 同 十七日 谷 美保子 (十四) 17歳
- ・ 同 二十六日 野村 圭子 (十三) 18歳

ヴォーカライズ歌集・作成のお願い  
A K Cヴォーカライズ創立五周年を記念する意味で、「ヴォーカライズ歌集」を作ったらどうだろう、という声が出ています。

みんなで一緒に歌える歌、A K C時代に口ずさんだなつかしい曲、ヴォーカライズのつどいどきに合唱できる曲……そうしたものを集めてみるのもおもしろいというのです。皆さん、いかがでしょう。気軽に歌えるものとして、どんなものを加えたらいいでしょうか。合唱曲、独唱曲の別は問いません。また、日本のうた、ロシア民謡、イタリアの曲、その他、どこの国のどんな曲でもかまいません。こんな曲を加えたらいいだろう、というものを、ぜひお知らせ下さい。

卒業生と在校生をつなぐものが「校歌」だけではさびしいものです。一時代たつてから復活した「サリマライズ」のような例もあります。みんなの思い出につながる曲、親しさを増す歌……そして、「ヴォーカライズ歌集」を手にして、つどいは一緒にうたいましょう。ご協力をお願いします。

## 招待席 C

イムペリアル・フィルハーモニー交響楽団  
名古屋初公演

(六月二十一日・市公会堂)

元ABC交響楽団の団員が今年の一月に結成したイムペリアルフィルの名古屋初公演が六月二十、二十一の両日、市公会堂で開かれた。招待席Cは、二十一日、高橋、岡嶋両君を招いて行な

った。今年マラーの生誕百年目であるので、プログラムには「亡き子を偲ぶ歌」が組まれてあったが、あとはチャイコフスキーの「悲愴」とリストの「前奏曲」といったポピュラーなものであった。指揮は山田夏精、独唱は中山第一。細かくいえば難点も多いが、披露としてはまずまずの演奏であったように思う。この日は相当ひどく雨が降ったせいもあるが、ともかく会場は空席だらけで、七分ぐらいも入っただろうか疑わしい。また雨の音で弱音がききとれないのはどうもまずい。

(森本)

## 参会者

招待者 岡嶋 孝(十三)  
高橋 昭弘(十三)  
編集部 森本 進(十)

弦の弱さを暴露  
華やかな曲を選びたい

。悲愴 あまり感心できる演奏ではなかった。第一楽章の冒頭が雨でさつぱり聞こえなかったのは、どうもレコードを途中からかけたみたいでいただけでない。第一楽章のバースンのモティーフは、この交響曲の悲愴さをよく表しているものだが、これがまずいので、悩みとか悲しみというものがよくあらわれてこない。第二楽章では弦の弱さをばくろした。アンサンブルがち密でないのは致命傷である。第三楽章は一応よく感じを出していた。流動するようなマーチのモティーフが木管や金管に受け継がれ、反復するところはきれいに描かれていた。終楽章もまずまずよいが、チェロやコントラバスの音があまりよくない。ともかく僕は悲愴という曲は、チャイコフスキーの代表的な名曲であることは認めるが、好きではないので(もつとオーソドックスな、ドイツ的につくられた第五の方が好きであ

る)あまり楽しめなかった。山田夏精の指揮はどうも荒れ気味で、テンポも早く、悲愴という感じをよく打ち出すところまでいっていないように思われた。亡き子を偲ぶ歌 マラーの作品は百年祭でもなければ名古屋ではとてもきかせてもらえない。僕はマラーの「大地の歌」や「第四交響曲」などすばらしい曲だと思ふのだが、どうしてこう人が関心をもたないのか不思議である。独唱の中山第一はよく歌ったが、ベストコンディションではなさそうで、高い音がきれいではない。しかし深い悲しみがよくこめられていた。この場合の管弦楽は、非常に控えめであったが、これはマラーの歌曲作曲技巧の本来の姿ではないだろう。もつと分厚い表現をしてもらいたかった。マラーの曲では伴奏ではないのだと僕は思う。

(森本 進)

## プロフィール

優しい思いやりの主

山崎満寿枝

さん

(十四期)

山崎満寿枝さん……。とにかく、丸い人である。まず、写真をとくとごらん下さい。からだつきも丸ければ、顔も丸い。二つの目も丸くて、真っ黒でつぶらである。外見どおり性質もまた丸い。このせせこましい世の中の、せせこましい人の多い中で、彼女のおっとりした性質は、見習うべきであろう。わが音楽部にとって、彼女はピアノ伴奏者として、また、えんの下の力持ちとして、なくてはならないひとであった。彼女は表面に出ることは好まない性質であったが、かげながらクラブのことをいろいろ考え、心配していた。こういう彼女を失ったことは、大きな痛手である。

彼女の東京行きが決まったとき、彼女いわく、「何も皆のためになることができなかつたから、せめてクラスにカーテンでもつけて男子の手ふきにでもしてもらいたかつた」このことばから、彼女の優しさがわかるではありませんか。

彼女は目下、編入試験をめざしてもう勉強中である。彼女がこの猛勉強によって無事希望校へ入学されんことをまた少しはスマートになられんことを、祈るうではありませんか。

正直にいつても叱られないなら、言います。物覚えの悪い私が最初に名を覚えることのできた十四期生は山崎さんでした。決してほかの人と間違える心配がなかったから、一度で名が覚わったのでしよう。それからというのも、AKCの練習で、いつも顔を紅潮させてピアノをひいている山崎さんの真摯な姿をみました。そして、私は思うのです。この夏の三人の送別会するとき、きっとこの人が一番はじめに泣き出したに違いないと。その心優しい人のために、私が送別会をできなかったのが、いまも心残りです。 ^浅井^

シックス・シリーズ (27)

山崎満寿枝さん

(写真はこの欄へはって下さい)

撮影者 森本 進 (十)

撮影メモ 昭和35年5月28日夕

浅井会長宅でうつす

写真の裏面にナンバーをしるしてあります。ご注意下さい。

## Invention

○：豆台風が多いとはいえ、今年には台風の当たり年とか、連日のように台風の情報を聞くと、いやでも昨年の方が重い出されます。どうか、ことしは無事であつてほしいものです。そして、台風などの当たり年などは、まっぴらおことわりしたいものです。

○：このところ、皆さんからの寄稿がありません。だから、七月号はどうとう見送りました。今月もこのように、六ページに縮小するよりしかたのない状況です。たいへん残念なことだと思ふのですが：○：「AKCヴォーカライズ」と名付けたのは、昭和三十年八月のことでした。それからちょうど五年たちました。発足当時、名付け親の私は会計をしていました。翌年の秋には、機構を改革して新規のスタートをしました。それから四年間もの長きにわたって、私は会長を勤めてきました。ことし、AKCは十三回目の発表会(昨年は対外発表はなかつたが、回数に加えてある)を開こうとしていますが、そのうち四回を除いては、きいたり、やったりしてきた私です。そうした「古老」ぶりを發揮して、近く、AKCとのあれこれを書いてみたいと計画しているのです。



昭和三十五年

AKC発表会：

昭和三十五年度の旭丘高校音楽部発表会（通算第十三回）は、第十二回学校祭の一環として、つぎのとおり開催することになりました。

ウィークデイ、しかも昼間という日程で、皆さまにはいろいろご都合もありと存じますが、ぜひご来聴ください、ご高評をたまりませんよう、お願いとともにご案内申し上げます。

記

と き 昭和35年10月19日（水）

第一部 AM10.30～ハ合唱・ソロ

第二部 PM1.00～ハオペレッタ

と ころ 旭丘高校鮫光館

当日の進行の状況によって、多少開演時間に異同があるかもしれませので、ご了承ください。

以上

昭和三十五年十月

旭丘高校音楽部

AKCニュース

いよいよ学校祭のシーズン。音楽部の最大年中行事である発表会の日取りも上記のように決まり、連日おそくまで練習を続けている。ことしは、いままでとかわって、コーラス、器楽ソロ、ヴォーカル

ソロのほかに、オペレッタまで加わっているので、練習もなかなかたいへん。（そのせいもあって、発表会Ⅱ演奏部門Ⅱの規模は、かつてない小味なものになった感じがする）

予定されているプログラムの項目を拾うと、つぎのようである。

- 1 混声合唱 指揮・ソロ (ピアノ) 平山葉子 (矢野公子)
- 2 女声三重唱 森谷町子 西依キミ子 (加藤久美子) 鈴木由紀子
- 3 ヴァイオリン 独奏 村上賢一 (平山葉子)
- 4 女声合唱 伊藤真知子 (矢野公子)
- 5 男声合唱 村上賢一
- 6 シロフォン 独奏 太田岸子 (宮部杏子) 村上賢一 (伊藤真知子)

オペレッタ「影をなくした男」(堀内秀治作曲・全三幕)については、八月号でキャストなどを紹介したし、十二期生らによって三十三年春に上演されたもので

もあるのでは、詳細な紹介は避ける。ただ、キャストのうち、その後ある種のいきさつがからんで高木眞祐君がおりたため、伯爵役を村上賢一君が勤めることになった。

学校祭の日程

◇：第十二回旭丘高校学校祭の日程はつぎのとおり。

- 10月18日(火) 前夜祭(開会式、フォークダンス、歌の会)
  - 19日(水) 文化祭(英語劇、音楽会、オペレッタ、映画)
  - 20日(木) 文化祭(弁論、演劇、器楽演奏、速記、講演)
  - 21日(金) 文化祭(レコードコンサート、各部展示会Ⅱ文化祭中Ⅱ)
  - 22日(土) ……体育祭準備…
  - 23日(日) 体育祭
  - 24日(月) イムペリアル・フィル演奏会
- 未完成、フィガロの結婚序曲、芸術家の生涯、水上の音楽、白鳥の湖より  
指揮 藤田由之

文化祭、体育祭はそれぞれ午前九時開演、前夜祭は午後三時、イムペリアル・フィルハーモニー交響楽団演奏会は午後一時三十分から始められる。



この欄はA K C関係者みんなの近況を知らせ合うためのものです。だれのことでも、どんなことでも、ぜひお知らせ下さい。

◇…水野俊彦君(六)の出演するC K食後の音楽(公開放送)が、つぎのとおり放送される。当日お暇な方は、出かけられたい。

C K「食後の音楽」公開放送

ヴェルディ・歌劇「椿姫」抜粋

とき 昭和35年10月20日(木)

ところ NHK名古屋放送局

出演 名古屋放送管弦楽団

名古屋放送合唱団

指揮 横井 園生

ソプラノ 加藤恵美子

テノール 水野 俊彦

バリトン 岩佐 伝

〔曲目〕・前奏曲・乾杯の歌・アルフレ

ッドとヴィオレッタの二重唱「思いつめて

ていました」・ヴィ「ああそはかの人か」・

アル「君なくば生くるすべなし」・ヴィオ

レッタとジェルモンの二重唱・ジェ「プロ

ヴァンスに海と陸」・ジプシーの合唱

◎おききになる方は、0時十五分までにおいで下さい。

◇…東京光音研究所(大阪・読売テレビ)に勤務していた永井充君(八)は、九月いっぱい同社を退職、九月二十八日名古屋の自宅へ帰った。これからは家業(永井抱陽写真館)に従事される。

名古屋市東区代官町×××

◇…毛利豊君(五)は、十月二十八日に結婚式をあげる。詳細は次号で。

◇…桜山崇子さん(七)は、国立音楽大学卒業後も東京にとどまってフランス歌曲研究会の一員として活躍していられた

が、伝えられるところでは、十一月には帰省、再出発を図る予定だという。

◇…平山葉子さん(十四)は、鼻の手術のため九月初旬、名古屋三菱病院に入院、予想外に手術が早く済み、同十七日退院、下旬から元気で登校した。入院前には二カ月ほどの時日を要するといわれ、発表会を控えたA K Cにシヨックを与えたが、この好結果で救われた。

◇…七月に転居した十四期の三嬢は、それぞれつぎの高校へ転入された。

・谷 美保子(十四) 福岡県・修猷館高校

・二井真智子(十四) 東京都・千歳高校

・山崎満寿枝(十四) 東京都・竹早高校

私の好きな詩②

北原白秋 「落葉松」

原 まき子

この「落葉松」の詩を読んだり、口ずさんでいると、ふっと私も美しいうらびれたような、落葉松の林の中を散歩しているような気持になり、柄に似合わず、ロマンティックな感傷の中にひたることのできるのです。だからこの詩は好きなのです。

こえません

あるとき、太宰治が若い友人とある喫茶店にはいつて芸術論をやり、「ベートーヴェンの第五はもともと芸術的であって、同時にもっとも通俗的なものだ。いまやっているああいう俗悪な曲とは違う」といい出した。ところがそのとき喫茶店のラジオがやっていた俗悪な曲はベートーヴェンの第五だった。

音楽こぼれ話



誕生日おめでとう (10月)

・十月十二日 渡辺 義彦(十一) 20歳

・同 十四日 毛利 豊(五) 26歳

・同二十七日 山崎満寿枝(十四) 17歳

## 招待席 C

## 見直した日本のオペラ

## 二期会II京響(シリーズ第三回)「魔笛」公演

(九月二十二日・産経ホール)

招待席Cも、迎えて三十回。思えば昭和三十二年の六月にリチャード・タツカーを聞いての座談会に始まり、あるときは休みながらも、どうにか続けてきた三年余りであった。

そこで、三十回目の招待席Cとして、九月二十二日、東京産経ホールでの二期会オペラ「魔笛」公演を取り上げた。招いたのは、音楽に対する造詣の深いヴォーカライズでのベテラン、若林君と石井さん。編集部からは浅井が参加した。

二期会II京響モーツアルト・オペラシリーズの第三回公演である「魔笛」は、楽しいみものであった。久しぶりにオペラを見るといってお二人も、しごく楽しかった様子。

以下はそのオペラについて、翌九月二十三日、銀座「白馬車」で行なった座談会のもようである。

参会者	招待者	若林 延昌 (五)
〃	〃	石井よし子 (九)
編集部	浅井 幸三 (五)	

## オーケストラと指揮者

浅井 一晩たったので、もう細かいことは忘れてしまったかもしれないが、とにかく一通り話をすることにしましょう。

若林 じゃ、客席に近い方からいこうか。まず指揮者…。

石井 初めのうち、雑音を気にしていたのじゃない？ 後を振り向いていたでしょう。

若林 序曲と一幕の間に、マをあけるのはいけないね。もともと、これは指揮者の責任じゃないけれど。

浅井 最近じゃ、序曲のあとで休んで客を入れるのが通例になっているね。

若林 観客も非常識だね。…チェリウスの指揮は不親切、というか冷たいね。あまりオーケストラの方を見ないし。

石井 女の人が多いわね。何だかワクワクしちゃった。女の人がクラ持つて出てくるでしょう。

若林 あのオケ、うまいね。大きなスケールは持っていないけど、こじんまり

とまとまっている。

石井 前に名古屋で聞いたときよりうまくなっているわね。公務員だから、フトコロがあたたいかい？ (笑い)

若林 生活の心配がないからね。よく練習ができるし…

## 出演者を採点すると…

浅井 じゃ、舞台の上へあがりましょう。出演者はどうです？

石井 立川澄人さん(パパゲーノ)ってあんなに声量があるって知らなかった。

若林 びっくりするほどよかったね。

石井 あの人のパパゲーノは評判なんですって。すごくいいって、畑中さんと二人、似たタイプね。

若林 演技力もあるし…。

石井 アンコールで呼ばれたの、あれだけじゃない？

浅井 鉄弥恵子さん(夜の女王)はどう思った？

石井 あの人、ベルトラメリ能子さんの娘ですってね。初めて聞いたけれど、驚いたわ。まだ整ってはいないけれど…。

浅井 夜の女王としてはちよっと線が細いような気もするが、コロラトゥーラのところなんか、おみごとだったね。

当たり役だ。

石井 よく声も通ったからね。それに引きかえ三宅春恵さん（パミーナ）が…。

若林 三宅さんはもつとボリュームがあるはずだね。

石井 つまらなかつたわ、期待してたから。

浅井 主役の二人は、がっかりだね。

石井 渡辺高之助さん（タミーノ）は、初めはよくなかつたけど、二幕では持ち直したからまだよかつた。でも、渡辺さんの方は誇張している。ああいう内容だから誇張するのでしょうか。

若林 誇張のしかたが不自然だった。

石井 初めのうちはコチコチだった。

浅井 わき役で、三人の童子…。

石井 かわいい感じね。

若林 声がよく合っている、きれにとけ合っていたね。

石井 それに歌がかわいいから…。ほかの種類三重唱だったらもつと変わっていたかもしれない。ああいう役だったからよかつたのね。

浅井 それじゃ、同じ三人でも大きい方の侍女はどう？

若林 一人一人はこちらの方がいいだろうけど、ハーモニーがとれていない。

石井 一人一人、力みすぎているみたい。

若林 三重唱としての価値はなくなってしまうね。

石井 黒人（モノスタトス）が出てきたとき、この人うまいなと思つたら、あれ柴田睦陸さんだったのね。オペラのベテランだし、演技だつてすごくうまいから、やっぱり目立つわね。

若林 ああいう役をやってもうまいね。

浅井 一体に、二期会というのは三枚目ばかりで、二枚目がいないんじゃないかな。（笑い）

石井 秋元雅一朗さん（サラストロ）は、低音がよく出なかつたんじゃない？それに母音がくだけるみたいで変な感じがした。

若林 結局オペラだから、ある程度、あの場合意識してやっていたんじゃないかな。

浅井 ところで、一番光つたのはだれだろう。

石井 やっぱり立川さん。（二同うなずく）

若林 加納純子さん（パパゲーナ）との二重唱、楽しかつたね。

石井 すごく合っていたわ。意気投合しちゃつてね。（笑い）

うまくなつた日本のオペラ

浅井 細かくやりすぎたから、最後に全体の印象を…。

若林 色彩は一般にブルーで、夢の中できごとみたいにしちやつて、よかつたね。装置も簡単だけど、けっこう生きている。日本の狭い舞台なら、ああいうふうに最大限に活用していいんじゃないかな。

石井 あれなら狭い会場でもできる。全体に二幕の方がよかつたわね。

若林 何年ぶりのオペラだけど、オペケよし、歌よし、演技もまあいい。装置も、いままでのぼくらの概念とは違うが新鮮味を感じた。やはり新しくなつてきている。

石井 オペラなんて歌が二の次になつてしまつて、見る気がしなかつたから、ほんというところ、またつまらないのかと思つた…。

若林 見直したよ。

石井 見る気を起こしてくれた。人まねじゃなくなつてきたのね。日本的なものとして、全部バランスがとれてきたのでしょう。

浅井 どうもありがとう。

△終り▽

気弱く 気強く……

へワビニカエテ



あさいこうぞう

「アイツ、またいやにのさばってるじゃないか。たった八ページの「Vocalize」のうち、自分一人で何ページ占領するつもりなんだ。…と、あきれる方がいるかもしれない。しかし、これでもソツと戸をあけて恐る恐る登場した弁士のつもりなのです。ほんとうは、とても恥ずかしいのです。ぼくは、この「Vocalize」では、いつも影の人でありたいからです。でも、いろいろおわびすること、陳謝すること、最敬礼すること、弁士ひっこめとドナラレルこと、その他たくさんあるので、「みんなにきかせる ひとりごと」の主が、ふたびまかり出したしだい。お許しください。そして、バカなやつ、と笑いながら、以下のメイ文をお読みください。平にお願い申し上げます」

店主口上

「浅井サン、Vocalize って何カ月休んでいるかナア」…そういって、わかりきったことを、面と向かってよくに言う人があります。「ハハハ、Vocalize が届きません。郵便屋さんが間違えて、どこかへほうり込んでいったのでしょいか」…とカラメ手から、攻めてくる人もいます。「Vocalize はどうしたのでしょか」八月、九月と二カ月も発行停止ですか」…(それでも、かわいそうと思っただ、いくらか割り引きて計算してくれたようです)と、たずねる人もありました。お答えいたしません。…ぼくは、速記者にしては珍しく、数学のデキル人種なんです。その証拠に、社の速記部の人たちは、子供の宿題の数学を、いつもぼくのところ相談にきます。なぜなら、速記部二十八人中、解く能力のあるのは、ぼく一人だから。エへへへ… Vocalize を休んだのは、七月、八月、九月、十月と四回です。しかし、遅ればせながら、十月号はこういうぐあいだにデッチ上げましたし、たった一ページの原稿がなく、泣いて見送った(ウソじゃないよ)八月号も、どうにか格好をつけて同封しましたので、差し引き、七月、九月の二回、休刊ということになるのであります。(ご名答でした)

「浅井さん、例によって病気をしてるんじゃないか、と思っ、心配してました」…ぼくが病弱なことを知っている人は、そういって慰めてくれます。「私が会費を払わないから、ツブれたのかと思っ」…自分のせいのようにいって、ぼくへの当たりをやらせてくれた人も、中にはいました。それだけに、まじめに会費を払っていたみなさんの、ファンマンやる方なきお気持ちは、ぼくにもよくわかるのです。ぼくだって会費はちゃんと納めているし、自慢じゃないけど、Vocalize の一番の愛読者のつもりです。だから、ぼくも毎月の Vocalize をとても楽しみにしています。やすまずに、毎月読みたいのです。編集者としてのぼくは、たしかにサボッていました。ナマケていました。次善の策を講じなかったからいけないのです。…でも、でも、です。ぼくは、ナマイキにもとても気位が高いのです。何度も何度も、そして平身低頭して、原稿を書いてください、と、頼み込むのをいさぎよしとしないのです。だから、ぼくは毎月きまった人に、しかもたった一、二度頼み、念を押すだけで通してきました。

その結果は、ごらんのとおりです。七月号に予定したプロフィールが、写真は準備してあるのに進んでいかないのです。「招待席C」に参加したら、感想を書くキマリになっていても、タダ見、タダ聞きの人が意外に多いのです。毎月一ページずつ、AKCのニュースを載せようとしても、いっこうに守られないのです。「みんなの書いた原稿が読みたい」とだれもが言うのに、自主的に寄せられるものは皆無に近いのです。編集者としての、ぼくの力にも疑問を感じているのです。一回くずれると、どうしても再起できない自分を知っているからです。秋口から、いつもカラダを悪くして、ほとんどの仕事に手がつけられなくなる、病の主でもあるからです。

ほんとうに、ぼくは困っているのです。さびしいのです。…ぼくが休むと、Vocalizeも休みなのです。そんなことってあっていいとお思いでしょうか。ぼくがジレンマを感じて「合唱団めぐり」をやめると、もう二ページもアナがあいてしまうのです。冗談じゃありません。ぼくは編集者として、記者として落第したようです。…みなさんが、今月もVocalizeはお休みか、という前に、たった一つずつ、一言ずつ書いて

くださったら、ぼくも病をおしてがんばれたことでしょう。

エラそんなことをいいました。なぜ、こんなに虚勢を張るかといえ、だれよりも、ぼく自身がVocalizeの長い、長い空白にハラを立てているからです。そんなにサボったぼくが、この上なく憎いからです。くやしいからです。

ぼくたちの社では、いま機械化が進んでいます。速記者はだんだんと、他の部署へ回されることでしょう。そして、それ以上に間近な問題として、十一月からの「北陸中日新聞」発行にさいして、金沢へ速記者を二人、長期出張（一カ月以上）させる話が持ち上がりました。独身で、しかも有能な（？）速記者であるぼくは、大いに身の危険を感じたのです。

いばりついでに、いばります。ぼくが一カ月名古屋をあげたら、このヴォーカライズは一カ月機能を停止しそうなのです。もしぼくが名古屋へ帰れなかったら、Vocalizeは四カ月の休刊にとどまらず、永遠の休刊になってしまいそうなのです。

ぼくは、責任を感じているのです。ワマン・チームに仕立てたぼくが悪いのです。みんなが、ぼくがいなくてもけっ

こうやっていけるように、自信を持つように、指導してこなかったからいけないのです。ぼくをつつきさえすれば、Vocalizeは軌道に乗るのだ、と思わせていたぼくがいけないのです。…こう、ぼくは反省しているのです。

これ以上申し上げることを、前にも書いたとおりに気位の高いぼくは、恥だとさえ思います。そして、賢明なるみなさんには、あえてダ足をつける必要もないと思うのです。

エラそうに、さんざつばら言いたいことをいい、わめきちらしながらも、ぼくは、やはり、長いこと何もしなかった自分が一番悪いヤツだと知っています。しかし、悪いヤツでも、眠れない毎日をすごしてきました。

「AKCヴォーカライズ」と名付けてから、ちょうど五年になりました。そして、その五年のうちで、ことしほど不都合な年はありません。たった五年なのです。「AKCヴォーカライズ」は、これから先、もつと伸びなければなりません。ぼくは無力ですが、みなさんは無力であってはほしくないのです。

## プロフィール

さしえにピッタリする

## 二井真智子 さん

(十四期)

二井さんが名古屋を立たれるとき、駅頭へ送りにきた同級生たちの盛んな送別ぶりに驚いた人も少なくないでしょう。授業時間中、バスを借り切って出かけてくるまでの熱の入れ方でした。これは、二井さんのいたHRの結束ぶりを語る、というよりは、二井さんの人徳というべきなのです。

旭丘一年のコンパのときにも、終わってみたら、二井さんをねらったカメラマンの作品ばかりだったとか。「男子に人気がありすぎる」と、ひがんだ人もいたに違いありません。

その人気の秘密は：。「おとなしくて、やさしくて、まじめで……。だけど、別にこれといった個性はみつからないみたい」と評価する人が多いところを見ると、知らず知らずのうちに、なんとなく人をひきつけるのでしょうか。野球の大洋じゃないけど、そのうち「二井ペース」ということばが流行するかもしれないですね。

学生服の似合う人です。お嬢さんス

タイトルの服を着ても美しい人です。仲のよい谷さんのように「近代的」ではないとしても、少女雑誌のさしえにはピッタリとはまるタイプのお嬢さんです。ロマンチックで、多感で、夢があつて、女学生らしさをいっぱいに感じさせてくれるのです。

あまり騒がず、あまり自分をぶちまけないので、ごくわずかな人を除いては、二井さんをよく知りません。しかし、おとなしさの内には、きつと強さがあるでしょう。すつきりとした明るさも持っています。堅実な歩みで「強烈な個性」に欠ける面を補い、しずかさ、おだやかさを周囲の人に与え、これからもみんなに好かれるに違いないのです。

## シックス・シリーズ (28)

## 二井真智子さん

(写真はこの欄におはり下さい)

撮影者 森本 進 (十)

撮影メモ 昭和35年5月28日夕

浅井会長宅でうつす

八月分の山崎さんの写真も同封してあります。間違いなくおはり下さい。

## Invention

○：長いこと休みました、大ぜいの皆さんにご迷惑をかけ、いろいろご心配をかけました。私という人間は(あえて私だけとはいえないかもしれない)一度つまずくとなかなか起き上がれないようです。順調に進んでいるとき、それがいちばん調子の出るときなのでしよう。ようやく再出発できたのですから、これをくずさないよう、これから軌道にのせていきたいとおもいます。：これまでの不実を許し、こんごの歩みに絶大な支援をたまわりますよう、お願いいたします。

○：秋です。芸術のシーズンです。音楽部の発表会も間近に迫りました。皆さんの毎日にも、いろいろとニュースがあると思います。はがきを同封しますので、どうか近況をお寄せください。そして、ヴォーカライズについて、いい知恵をお貸しください。

○：十一月には、できれば東京と大阪で、それぞれヴォーカライズのつどいを開きたいと考えています。名古屋では、十二月に、恒例の「クリスマス・うたのつどい」を、はでにやりたいと思います。実現のさいには、どうか皆さんがふるって参加してくださいませよう、お待ちしております。